

斗子子

第七十版

勳六等春日井是信編纂

# 徵集規則類纂

全

販賣所

三重縣津市釜屋町

鈴木活版所



67  
67/04  
C2  
67/093

徵兵規則類纂上下目錄

徵兵令	イ	之部
徵兵事務條例	ロ	之部
徵兵事務條例施行細則	ハ	之部
國民軍條例	ニ	之部
國民軍編入志願件	ホ	之部
陸軍補充條例	ヘ	之部
徵兵檢査規則	ト	之部
徵兵旅費定則	チ	之部
徵兵參事員手當金并ニ旅費支給規則	リ	之部
軍人恩給法	ヌ	之部
軍人恩給法施行規則	ル	之部
陸軍個人恩給取扱手續	ヲ	之部
陸軍服役條例	ワ	之部
陸軍服役條例ニ依リ現役免除ノ件	カ	之部
陸軍召集規則	コ	之部
陸軍召集條例	ク	之部



目錄



陸軍召集條例施行細則.....レ之部

陸軍召集諸費支出規程.....ソ之部

徵發令.....ツ之部

徵發事務條例.....子之部

附表陸軍省令第十八號雛形表式并海軍省令第四號雛形表式

徵發事務條例中徵發物件取調送附方.....ナ之部

陸軍馬匹調查及檢査ニ關スル件.....ラ之部

陸軍馬匹調查及檢査規則.....ム之部

馬匹徵發事務細則.....ウ之部

陸軍兵籍規則.....ウ之部

陸軍戰時名簿規則.....ノ之部

陸軍武官結婚條例.....オ之部

陸軍士官學校條例.....ク之部

陸軍中央幼年學校條例.....ヤ之部

陸軍地方幼年學校條例.....マ之部

陸軍六週間現役兵條例.....ケ之部

陸軍六週間現役兵條例施行細則.....フ之部

陸軍一年志願兵條例.....コ之部

陸軍一年志願兵條例施行細則.....エ之部

陸軍下士兵卒休暇ニ關シ地方ニ係ル取扱及出願手續.....ア之部

陸軍志願兵身體檢査規則.....サ之部

海軍々々結婚條例.....キ之部

陸軍戸山學校條例.....ユ之部

海軍召集諸費支出規程.....メ之部

海軍々々結婚願出手續.....ミ之部

海軍下士兵卒服役條例.....シ之部

海軍兵學校條例.....エ之部

海軍兵學校規則.....ヒ之部

海軍機關學校條例.....モ之部

海軍機關學校規則.....セ之部

海軍志願兵條例.....ス之部

海軍志願兵徵募細則.....ガ之部

海軍志願兵家族扶助金支給規則.....ギ之部

海軍召集條例.....グ之部



海軍召集條例施行細則	.....	ゲ	之部
海軍恩給出願書式	.....	ゴ	之部
屯田兵條例	.....	ザ	之部
屯田兵招募規則	.....	ヲ	之部
屯田兵土地給與規則	.....	ズ	之部
屯田兵移住給與規則	.....	ゼ	之部
陸軍管區表	.....	ゾ	之部
海軍生徒學生及下士卒等ノ死亡者埋葬料ニ關スル件	.....	ダ	之部
海軍生徒學生下士卒死亡者取扱規則	.....	ヂ	之部
陸軍給與令	.....	ヅ	之部
陸軍給與令細則	.....	デ	之部
陸軍身體檢査手續	.....	ド	之部
陸軍旅費規則	.....	ハ	之部
海軍内國旅費規則	.....	ビ	之部

朕徵兵令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年一月二十一日

内閣總理大臣 伯爵黑田清隆  
 陸軍大臣 伯爵大山 巖  
 海軍大臣 伯爵西郷從道

特 15  
301

●法律第一號  
徵兵令

第一章 總則

第一條 日本帝國臣民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總テ兵役ニ服スルノ義務アルモノトス

第二條 兵役ハ分テ常備兵役後備兵役補充兵役及國民兵役トス

第三條 常備兵役ハ分テ現役及豫備役トス

現役ハ陸軍ハ三箇年海軍ハ四箇年ニシテ滿二十歳ニ至リタル者之ニ服シ豫備役ハ陸軍ハ四箇年四ヶ月海軍ハ三箇年ニシテ現役ヲ終リタル者之ニ服ス

二十八年  
三月法律  
第十五號  
參看

徵兵令

イ一



第四條 後備兵役ハ五箇年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス

第五條 補充兵役ハ陸軍ニ在テハ第一補充兵役第二補充兵役トシ第一補充兵役ハ七ケ年四ケ月ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者ノ中所要ノ人員之ニ服シ第二補充兵役ハ一ケ年四ケ月ニシテ其年所要ノ第一補充兵員ニ超過スル者之ニ服ス又海軍ニ在テハ一ケ年ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者之ニ服ス

第六條 國民兵役ハ分テ第一國民兵役第二國民兵役トス

第一國民兵役ハ後備兵役及第一補充兵役ヲ終リタル者之ニ服シ第二國民兵役ハ常備兵役後備兵役補充兵役及第一國民兵役ニ在ラサル者之ニ服ス

第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期ヲ延スコトアルヘシ

第八條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ兵役ニ服スルコトヲ許サス

第二章 服役

第九條 陸軍現役兵及補充兵ハ毎年所要ノ人員ニ應シ壯丁ノ身材藝能職業ニ從ヒ步兵騎兵砲兵工兵輜重兵職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニヨリ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充

海軍現役兵及補充兵ハ毎年所要ノ人員ニ應シ沿海地方及島嶼ノ壯丁ヲ調査シ海軍ニ適スル職業ニ從ヒ水兵火夫職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニヨリ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ但海軍志願兵徵募規則ニ依リ服役スル者ハ本令ノ限ニアラス  
警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁近衛師團ニ編入スル者ヲ除クハ總テ之ヲ警備隊ニ充テ其地ニ於テ服役セシム但在營期限ハ一箇年以内トス

第十條 雜卒ノ現役期限ハ其職務ニ因リ之ヲ短縮スルコトアル可シ但常備兵役ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ

第十一條 抽籤番號ノ順序ニ由リ其年ノ補充兵役所要員ニ超過スル者ハ國民兵役ニ服セシム

第十二條 二十歳ニ至ラスト雖モ滿十七歳以上ノ者ハ志願ニ由リ現役ニ服スルコトヲ得

第十三條 滿十七歳以上滿二十八歳以下ニシテ官立學校小學校及專科等府縣立師範學校中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認めタル學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立學校ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍試驗委員ノ試驗ニ及第シ服役中食料被服裝具等ノ

二十二年  
十一月  
法律第二十  
九號參看  
二十六年  
三月法律  
第四號參  
看



費用ヲ自辨シ豫備後備將校タル冀望ヲ有スル者ハ志願ニ由リ一々年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得但費用ノ全額ヲ自辨シ能ハサルノ證アル者ニハ其幾部ヲ官給スルコトアルヘシ

一年志願兵ノ豫備役後備役年期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

滿十七歳以上滿二十八歳以下ニシテ官立府縣立師範學校ノ卒業證書ヲ所持シ官立公立小學校ノ教職ニ在ル者ハ六週間陸軍現役ニ服セシム其服役ニ關スル費用ハ官給トス

前項ノ現役ヲ終リタル者ハ直チニ國民兵役ニ服セシム

第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十八歳迄ニ其教職ヲ罷ムル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ更ニ二箇年間陸軍現役及常例ノ豫備役後備役ニ服セシム但第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニアラス

第十四條 禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ由リ懲罰ニ處セラレタル者ハ一年志願兵タルコトヲ許サス

第十五條 現役中殊ニ勤務ニ熟シ品行方正ナル者ハ歸休ヲ命スルコトアル可シ

第十六條 豫備兵後備兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年一度

六十日以内勤務演習ノ爲メ之ヲ召集シ又毎年一度簡閱點呼ヲ爲ス

第十七條 第一補充兵及海軍補充兵ハ現役兵ノ補欠ニ充テ又戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス但第一補充兵ヲ以テ現役兵ノ補欠ニ充ツルハ其服役ノ初年ニ限ル

第一補充兵ハ平常ニ在テ百五十日以内教育ノ爲メ之ヲ召集ス其他勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スコト豫備兵ニ同シ

第二補充兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ第一補充兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキ之ヲ召集ス

第十八條 國民兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ後備兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキニ限リ之ヲ召集ス

第三章 免役延期及猶豫

第十九條 兵役ヲ免スルハ癡疾又ハ不具等ニシテ徵兵検査規則ニ照ラシ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ル

第二十條 左ニ掲クル者ハ徵集ヲ延期ス次年ニ於テ徵集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第一 體格完全且強壯ナルモ身幹未タ定尺ニ滿タサル者



第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサル者

第二十一條 公權ノ剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重輕罪ノ爲メ訊問若クハ拘留中ノ者ハ徵集ヲ延期ス

第二十二條 徵集ニ應スルトキハ其家族自活シ能ハサルノ確證アル者ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其事故三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム但分家又ハ絶家廢家再興ノ故ヲ以テ本條ニ當ル者其他自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタル者ハ其願ヲ許可セス

第二十三條 第十三條第一項ニ掲クル學校ニ在校ノ者ハ本人ノ願ニ由リ滿二十八歲迄徵集ヲ猶豫ス其事故滿二十八歲迄ニ止ミ又ハ二十八歲ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者及第十三條第三項ニ依リ服役スル者ハ此限ニ在ラス

外國ニ在ル者朝鮮國ニ在ル者ヲ除クハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ猶豫ス滿三十二歲迄ニ歸朝スル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集シ三十二歲ヲ過クル者ハ國民兵役ニ服セシム但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニアラス

第二十四條 餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉スル官吏及市町村長助役及收入役

ハ豫備兵後備兵ニ在ルト第一補充兵ニ在ルトヲ問ハス勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルコトナシ

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

第四章 雜則

第二十五條 毎年一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歲ト爲ル者ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ又第二十三條第一項ニ當ル者ニシテ二十八歲迄ニ事故止ミ同條第二項ニ當ル者ニシテ三十二歲迄ニ歸朝シタル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ戶主ニ非ハ其戶主ヨリ本籍ノ市町村長ニ届出可シ但二十歲未滿ニシテ現役ヲ終ヘタル者又ハ現役中ノ者ハ本條ノ届出ヲ爲スニ及ハス

第二十六條 徵集ハ本籍所在ノ徵募區ニ於テスルモノトス

第二十七條 疾病又ハ犯罪等ノ爲メ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ翌年之ヲ徵集ス

第二十八條 兵役ヲ免レンガ爲メ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒ

又ハ逃亡若クハ潜匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス

第二十九條 服役年限ノ計算ハ現役豫備役補充役及海軍後備役ニ在テハ各其役ニ就



第十三條第三項ニ依リ服役スル者ノ現役年期ノヨリ陸軍後備役  
 年ノ十二月一日計算ハ別ニ勅令ヲ以テ規定スル月日ヨリ起算ス  
 ニ在テハ其役ニ就ク年ノ四月一日ヨリ起算ス但第七條ニ依リ延期シタルモノト雖  
 モ服役年期ノ計算ハ延期セサル者ニ同シ

現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者其刑期中及逃亡中ノ日數ハ現役年期  
 ニ算入セス其豫備役年期ハ現役ヲ終ル年ヨリ起算シ陸軍ニ在テハ第六年目ノ三月  
 三十一日迄海軍ニ在テハ第五年目ノ十一月三十日迄トス但第十條ニ依リ現役年期  
 ヲ短縮シタルモノハ其現役ヲ短縮シタル場合ニ於ケル豫備役年期ニ應シ本項ニ準  
 シテ計算ス

豫備役後備役及補充役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル者其  
 召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算セス

第五章 罰則

第三十條 第二十五條ノ届出ヲ爲サ、ル者及正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル  
 者ハ三圓以上三拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潜匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲  
 シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒタル者ハ一年以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三拾

圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六章 附則

第三十二條 本令ハ明治二十二年一月ヨリ施行ス但二十五條ノ届出期限ハ明治二十  
 二年限リ三月一日ヨリ同月十五日迄トス

第三十三條 本令ハ北海道ニ於テ函館江差福山ノ外及沖繩縣并東京府管下小笠原島  
 ニハ漸ヲ以テ施行ス其時期區域及特ニ徵集ヲ免除シ若クハ猶豫スヘキモノハ勅令  
 ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 本令中市町村長トアルハ市制町村制ヲ實施スル迄ノ間戸長ノコトトス  
 第三十五條 現今陸軍豫備役ニ在ル者ノ服役年期ハ第三條ニ依ル其後備役ニ在ル者  
 ハ常備役年期ヲ通シテ十二ヶ年四ヶ月トス

第三十六條 舊令第十七條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇  
 年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十七條 舊令第十八條第二項ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事  
 故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十八條 舊令第十八條第七項及第二十一條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集



ヲ延期シ其事故七ケ年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム  
第三十九條 舊令第十八條第三項ノ生徒ニシテ第一豫備徵員トナリ仍ホ在校ノ者ハ  
該徵員タルコトヲ止メ滿二十七歲迄徵集ヲ猶豫シ其事故二十七歲ヲ過クルモ仍ホ  
止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第四十條 第三十六條第三十七條第三十八條及第三十九條ニ掲クル者其事故各其本  
條ノ期限内ニ止ミタルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコト  
ヲ得

第四十一條 舊令第十八條第三項若クハ第十九條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シ在校ノ者ハ  
其事故八箇年以内ニ止ミタルトキ又ハ八箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ抽籤  
ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第四十二條 舊令第三十條ニ依リ補充員ト爲リタル者ハ之ヲ豫備徵員ト爲シ一箇年  
間明治二十一年十二月一日ヨリ起算スニ徵集セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第四十三條 舊令第三十一條ニ依リ第一豫備徵員ト爲リ在校セサル者及舊令第二十  
二條ニ依リ第二豫備徵員ト爲リタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム補充員ヨリ第一  
豫備徵員ト爲リタル者亦同シ

第四十四條 明治十二年第四十六號布告徵兵令ニ依リ國民軍ノ外免役又ハ平時免役  
若クハ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム

第四十五條 舊令第八條ニ依リ海軍兵ト爲リタル者ノ服役期限ハ同令第三條及第四  
條ニ依ル

第四十六條 第三十六條第三十七條第三十八條ニ掲クル徵集延期ノ者及第三十九條  
第四十一條ニ掲クル徵集猶豫ノ者其事故各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ三日  
以内ニ本籍ノ市町村長ニ届出可シ

第十三條第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十八歲迄ニ其教職ヲ罷ム  
ル者ハ三日以内ニ本籍ノ市町村長ニ届出可シ

第一項及第二項ノ届出ヲ爲サル者及本令施行前舊令第三十五條第三十六條ノ届  
出ヲ爲サスシテ本令施行後ニ發覺スル者ハ本令第三十條ニ依リ處分ス可シ

徵兵令終



●勅令第百十二號 (明治廿九年三月二十日)  
徵兵事務條例

第一章 徵兵區

第一條 徵兵區ハ師管及聯隊區又ハ警備隊區ノ區域ニ從フ

第二條 聯隊區及警備隊區ハ更ニ之ヲ徵募區ニ分ツ

第三條 徵募區ハ一郡又ハ一市北海道ニ在テハ區ヲ以テ一區ト爲ス

一市ニシテ二聯隊區ニ分屬スルモノハ各別ニ一區ト爲ス

數郡ニ一郡役所ヲ置クモノハ數郡ヲ併セ一區ト爲ス其ノ島廳ヲ置クモノ亦同シ

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ更ニ徵募區ヲ檢査區ニ分テ區ヲ以テ檢査區ト爲ス

第四條 步兵隊ノ兵員ハ聯隊毎ニ其ノ師管ノ一聯隊區第一師管ニ在テハ二聯隊區ヨリ其ノ他ノ兵

員ハ其ノ師管各聯隊區ヨリ徵集ス但要員ヲ充シ能ハサルトキハ他ノ聯隊區若クハ

他ノ師管ヨリ其不足ヲ補充スルコトヲ得

近衛ノ步兵隊及騎兵隊ノ兵員ハ各師管ヨリ其ノ他ノ兵員ハ第一師管ヨリ徵集ス

鐵道隊ノ兵員ハ第一第二第三第四第八及第九師管ヨリ徵集ス

警備隊ノ兵員ハ其警備隊區ヨリ徵集ス

三十二年  
四月勅令  
第百十三  
號參看



海軍兵員ハ各師管内沿海及島嶼ヲ包括スル聯隊區ヨリ徵集ス

第二章 徵兵官

第五條 徵兵官ハ總理徵兵官、師管徵兵官、聯隊區徵兵官、警備隊區徵兵官及聯隊區聯合徵兵署徵兵官トス

第六條 總理徵兵官ハ内務大臣及陸軍大臣ヲ以テ之ニ充テ全國徵兵ノ事ヲ統轄ス

第七條 師管徵兵官ハ師管内府縣毎ニ師團長及府縣知事ヲ以テ之ニ充テ師團長ヲ首坐トシ其ノ管内府縣徵兵ノ事ヲ統轄ス

北海道ニ於テハ師團長及北海道廳長官ヲ以テ師管徵兵官ニ充テ師團長ヲ首坐トシ其ノ管内徵兵ノ事ヲ統轄ス

第八條 聯隊區徵兵官ハ聯隊區内徵募區毎ニ聯隊區司令官及島司郡市長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヲ首坐トシ其ノ區内徵募事務ヲ執行ス

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ檢査區毎ニ聯隊區司令官及區長ヲ以テ聯隊區徵兵官ニ充テ聯隊區司令官ヲ首坐トシ抽籤事務ヲ除クノ外其ノ區内徵募事務ヲ執行ス

第九條 聯隊區聯合徵兵署徵兵官ハ東京市、京都市、大阪市ニ於テ徵募區毎ニ聯隊區司令官、市長及各區長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區司令官ヲ首坐トシ其ノ區内抽籤事務ヲ執行ス

第十條 第八條第九條ニ掲クル徵兵官ノ外聯隊區内徵募區東京市、京都市、大阪市、市ニ在テハ檢査區每ニ聯隊區徵兵參事員警備隊區内徵募區毎ニ警備隊徵兵參事員ヲ置ク

第十一條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ徵兵令第二十二條ニ當ル徵集延期及徵集免除並ニ明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ノ徵集猶豫ニ關スル事件ヲ審議シ意見ヲ徵兵官ニ具申スルヲ任トス但徵兵官ノ裁決ニ付可否ヲ議スルノ權ナキモノトス

第十二條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ郡市名譽職參事會員ヲ以テ之ニ充ツ但市ニ於テハ其ノ市名譽職參事會員ニ於テ四名ヲ互選シ之ヲ定ム

東京市、京都市、大阪市ノ區ノ聯隊區徵兵參事員ハ市會ニ於テ其ノ區内ニ住スル市民中選舉權ヲ有スル者ヨリ四名ヲ選舉シ之ヲ定ム其任期ハ市會議員ノ例ニ依ル島廳ヲ置ク島嶼ノ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ島司ニ於テ各町村會議員中ヨリ四名ヲ選ヒ府縣知事ノ認可ヲ得テ之ヲ命ス其ノ任期ハ町村會議員ノ任期ニ依ル



北海道ノ郡又ハ區ノ聯隊區徵兵參事員ハ徵募區毎ニ四名トシ北海道廳長官之ヲ命  
ス其ノ任期等ハ北海道廳長官ノ定ムル所ニ依ル

第十三條 毎年徵募事務執行中ハ師管徵兵醫官及聯隊區徵兵醫官聯隊區徵兵副醫官  
又ハ警備隊區徵兵醫官警備隊區徵兵副醫官ヲ置ク但シ警備隊區徵兵副醫官ハ時宜  
ニ依リ之ヲ置カサルコトヲ得

師管徵兵醫官ハ師團長ニ屬シ師管内徵兵身體檢査ニ係ル事ヲ管掌シ聯隊區徵兵醫  
官ハ聯隊區司令官ニ警備隊區徵兵醫官ハ警備隊司令官ニ屬シ其ノ區内徵兵身體檢  
査ニ係ル事ヲ管掌シ聯隊區徵兵副醫官ハ聯隊區徵兵醫官ヲ警備隊區徵兵副醫官ハ  
警備隊區徵兵醫官ヲ補佐ス

第十四條 師管徵兵醫官ハ師團軍醫部長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區徵兵醫官及警備隊區  
徵兵醫官ハ陸軍一等軍醫一名聯隊區徵兵副醫官及警備隊區徵兵副醫官ハ陸軍二三  
等軍醫ノ内一名ヲ以テ之ニ充ツ

第十五條 毎年徵兵事務執行中ハ聯隊區徵兵署、警備隊區徵兵署及聯隊區聯合徵兵  
署ニ事務員ヲ置キ該徵兵署ノ庶務ニ従事セシム

第十六條 聯隊區徵兵署事務員又ハ警備隊區徵兵署事務員ハ聯隊區書記又ハ警備隊

書記二名及島廳郡市書記東京市、京都市、大阪市及北  
海道ノ區ニ在テハ區書記二名若クハ三名ヲ以テ之ニ充  
ツ

聯隊區聯合徵兵署事務員ハ聯隊區書記二名市書記二名及各区書記二名若クハ三名  
ヲ以テ之ニ充ツ

第十七條 徵募事務執行ニ際シ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ノ全部ヲ  
缺クトキハ府縣知事ハ徵募區内ノ公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ  
就キ臨時聯隊區徵兵參事員又ハ臨時警備隊區徵兵參事員ヲ命スルコトヲ得  
島廳ヲ置キタル島嶼ノ臨時徵兵參事員ハ島司ニ於テ便宜之ヲ命スルコトヲ得

### 第三章 配賦

第十八條 毎年徵集スヘキ現役兵及補充兵ノ員數ハ上裁ヲ經テ陸軍大臣之ヲ各師管  
ニ配賦ス

第十九條 師團長ハ第十八條ニ依リ現役兵及補充兵ノ要員ヲ各聯隊區又ハ警備隊區  
ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ之ヲ各徵募區ニ配賦ス

第二十條 現役兵及補充兵ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ基準トシテ之ヲ定ム

### 第四章 徵募



第二十一條 町村制ヲ施行セサル地方ハ毎年戶籍簿ニ據リ徵兵適齡者ヲ取調ヘ徵兵令第二十五條ノ屆書ニ照較シ壯丁名簿ヲ作り二月十五日迄ニ島司又ハ郡長ニ差出シ島司郡長ハ點檢ノ後之ヲ二徵募區ニ取纏メ前年假決ノ諸名簿ト共ニ聯隊區徵兵署又警備隊區徵兵署ニ提出スヘシ

市長 京都市、京都市、大阪市及ハ前項ノ例ニ依リ壯丁名簿ヲ作り前年假決ノ諸名簿ト共ニ之ヲ聯隊區徵兵署ニ提出スヘシ

第二十二條 毎年徵募事務執行ノトキハ各徵募區及檢査區ニ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ヲ設ク但土地廣濶若ハ交通不便若ハ壯丁多數ノ徵募區ニ於テハ二箇所以上ノ地ニ逐次開設スルコトヲ得

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ抽籤執行ノ爲メ別ニ徵募區ニ聯隊區聯合徵兵署ヲ設ク

第二十三條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ島司郡市長ニ協議シ徵兵署開設ノ日割ヲ定メ聯隊區司令官警備隊司令官ハ師團長ニ島司郡市長ハ北海道廳長官府縣知事ニ申報スヘシ

島司郡市長ハ檢査抽籤ノ日時及徵兵署設置ノ場所ヲ豫メ聯隊區徵兵參事員又ハ警

備隊區徵兵參事員ニ通知シ且其ノ管内ニ告示スヘシ

第二十四條 兵役ノ適否ヲ定ムル爲メ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ壯丁ノ身體檢査ヲ行フ其ノ檢査ハ徵兵官及徵兵參事員ノ面前ニ於テスルモノトス

第二十五條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ壯丁ノ身體檢査ノ事ヲ監督シ兵種ノ選定ニ任ス

第二十六條 島司郡市長 京都市、京都市、大 徵集延期及徵集猶豫ニ關スル書類ノ調査及事實ノ審覈ニ任ス 阪市ニ在テハ區長

第二十七條 壯丁ノ身體檢査終ルトキハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ徵集延期、徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ處分ヲ爲シ又壯丁名簿ヲ以テ徵集名簿、徵集延期名簿、徵集猶豫名簿、徵集免除名簿及兵役免除名簿ヲ作ルヘシ

第二十八條 身體檢査ニ合格シタル壯丁ハ徵集順序ヲ定ムル爲メ徵募區毎ニ體格ノ等位及兵種ヲ分チ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ抽籤ヲ行フ但京都市、京都市、大阪市ニ於テハ聯隊區聯合徵兵署ニ於テ之ヲ行フ

抽籤ハ徵兵官及徵兵參事員列席ノ上抽籤總代人ヲ爲スモノトス但シ京都市、京都市、大阪市ノ徵兵參事員ハ各檢査區ヨリ一名宛出席スヘシ



抽籤總代人ハ其ノ年ノ壯丁ニ就キ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員之ヲ選定ス其ノ人員ハ適宜トス

第二十九條 前條ノ徵兵官ハ總代人ノ抽キタル籤番號ノ順序ニ依リ抽籤名簿二通ヲ作ルヘシ

第三十條 抽籤終ルトキハ抽籤名簿及徵集名簿ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ領シ抽籤名簿、徵集延期名簿、徵集猶豫名簿、徵集免除名簿及兵役免除名簿ハ島司郡市長之ヲ領シ島廳、郡市役所ニ備置クヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ於テハ抽籤名簿ヲ除クノ外ハ區長之ヲ領シ區役所ニ備置クヘシ

第三十一條 各徵募區ノ抽籤終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ第十九條ノ配賦ニ基キ現役兵徵募及補充兵編入ノ處分ヲ爲シ又徵集名簿ヲ以テ現役兵名簿、補充兵名簿及要員超過名簿ヲ作ルヘシ

第三十二條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ現役兵名簿ヲ各聯隊長聯隊ヲ爲サザ其ノ及海兵團長ニ交付シ且現役兵ニ徵募スヘキ者及補充兵ニ編入スヘキ者ノ順序ヲ島司郡市長ニ通知スヘシ

抽籤名簿及補充兵名簿ハ之ヲ聯隊區司令部又ハ警備隊司令部ニ備置キ要員超過名

簿ハ島司郡市長ニ交付シ島廳郡市役所ニ備置クヘシ

第三十三條 第二十七條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官第三十一條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官各其ノ證書ヲ附與ス但徵集免除ノ者竝ニ要員ニ超過シタル者ニハ證書ヲ附與セス

第三十四條 徵募事務終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り師團長ニ差出シ師團長ハ師管徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り陸軍大臣ニ差出シ陸軍大臣ハ全國徵兵表ヲ作り奏上スヘシ

第五章 裁決

第三十五條 裁決ハ分テ假決及終決ノ二種トス

第三十六條 假決ハ徵集延期及徵集猶豫ノ事ヲ裁決シ終決ハ現役兵徵募、補充兵編入、要員超過、徵集免除及兵役免除ノ事ヲ裁決ス

第三十七條 徵集延期、徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ裁決ハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ爲シ其ノ他ノ裁決ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ爲ス

第三十八條 壯丁若クハ其ノ家族ニ於テ徵兵令第二十二條及明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ニ關スル聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキ



ハ師管徵兵官ニ師管徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ總理徵兵官ニ訴願スルコトヲ得但訴願ノ爲ニ裁決ノ執行ヲ停止セス

本條ノ訴願ハ裁決書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ爲スヘシ其ノ期日ヲ過クルモノハ受理セス

第三十九條 徵兵官ノ裁決ニ對シ訴願ヲ爲サントスル者ハ其ノ訴願書ニ同徵募區内其ノ年徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戶主三名ノ保證書ヲ添ヘ其ノ裁決ヲ爲シタル徵兵官ヲ經由シテ差出スヘシ

徵兵官前項ノ訴願書ヲ受領シタルトキハ之ニ前裁決ニ關スル書類ヲ添ヘ上級ノ徵兵官ニ差出スヘシ

第四十條 總理徵兵官又ハ師管徵兵官ニ於テ下級徵兵官ノ裁決不當ナリト認ムルトキ又其ノ裁決詐偽若ハ錯誤ニ起因シタルモノナリト認ムルトキハ之ヲ取消シ更ニ處分ヲ命スヘシ但シ師管徵兵官ハ總理徵兵官ノ認可ヲ受クヘシ

第四十一條 徵兵官ノ裁決ニ對シテハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許サス

#### 第六章 現役兵及補充兵

第四十二條 現役兵入營期日ハ毎年十二月一日トス但疾病犯罪其ノ他ノ事故ニ由リ

十二月一日ニ入營シ難キ者ハ同月三十一日迄ニ入營セシム

警備隊諸兵ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年六月一日トシ砲兵輸卒ノ入營ハ三期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年四月一日第三期ハ同年八月一日トシ輜重輸卒ノ入營ハ四期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年三月一日第三期ハ同年六月一日第四期ハ同年九月一日トス

第二師管第七師管第八師管及第九師管ニ於テハ砲兵輸卒ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年四月一日第二期ハ同年八月一日トシ輜重輸卒ノ入營ハ三期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年三月一日第二期ハ同年六月一日第三期ハ同年九月一日トス但シ第七師管及第八師管ニ於テ輜重輸卒ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年五月一日第二期ハ同年八月一日トス

戰時若ハ事變ノ際其ノ他必要ノ場合ニ在テハ前諸項ノ入營期日ヲ變更スルコトヲ得

第四十三條 現役兵ヲ入營セシムルトキハ聯隊區司令部員ヲ入營地若ハ近衛、海軍入營兵集合地ニ派遣シ之ヲ當該隊長又ハ近衛、海軍入營兵受領員ニ交付セシム但



シ土地ノ狀況ニ由リ入營兵引率員ヲシテ入營地若ハ近衛、海軍入營兵集合地ニ引率セシムルコトアルヘシ

入營兵ノ人員寡少ナルトキ及入營兵受領員出發後到着シタル者ハ直ニ入營セシム  
第四十四條 現役兵入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ入營ノ延期ヲ願フ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ二十日以内ノ延期ヲ許スヘシ其ノ延期ヲ願フ者ハ願書ニ市町村長東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長以下同シノ與書證印ヲ受ケ其ノ父母疾病危篤ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ差出スヘシ

第四十五條 現役兵入營前ハ第四條ノ區域外ニ轉籍戶籍上本人ノ出入スルモ所屬ノ隊籍ヲ變更セスモ含有ス以下同シ

徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲リタル者ハ身體檢査ヲ行ヒ更ニ隊籍ヲ定ムルモノトス但第四條ノ區域外ニ轉籍シタル者ハ其ノ地ニ於テ身體檢査ヲ行ヒ隊籍ヲ定ム

第四十六條 現役兵入營前死亡シ若クハ疾病犯罪其ノ他ノ事故ニ由リ十二月三十一日迄ニ缺員ヲ生シ若ハ入營シ難シト認メタル者又ハ入營ノ後翌年一月三十一日前ニ死亡シタル者若クハ一時服役ニ堪ヘサル者又ハ常備後備ノ服役及永久服役ニ堪

難キ者アルトキハ其ノ徵募區同兵種ノ第一補充兵若クハ海軍補充兵ヲ以テ抽籤番號ノ順序ニ從ヒ補充シ若シ其ノ徵募區ヨリ補充スルコト能ハサルトキハ聯隊區内他ノ徵募區ヨリ補充ス其ノ配賦ハ各徵募區補充兵ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム但警備隊諸兵及砲兵輸卒、輜重輸卒ニシテ入營スヘキ月ノ十日迄ニ本文ノ事故ヲ生シタル者アルトキハ次期入營スヘキ者ヲ繰上ケ入營セシム其ノ最終期ニ在テハ前期ニ繰上ケタル缺員ト其ノ期ノ缺員ハ第一補充兵ヲ以テ補充ス

第四十七條 現役兵入營前廢疾又ハ不具ト爲リ永久兵役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ兵役ヲ免ス但徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲リタル者其ノ年徵募事務終結前ハ此限ニ在ラス

第四十八條 現役兵入營前徵兵令第二十二條ニ當ルヘキ事故ノ生スルトキハ本人ノ願ニ由リ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ徵集ヲ延期ス

其ノ願書ニハ同徵募區内其ノ年徵集ニ應スヘキ現役兵ノ戶主二名ノ保證書ヲ添ヘ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ差出スヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長町村ニ在テハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス島司郡市長ハ其ノ事實ヲ審覈シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官又ハ警備隊



司令官ニ送付スヘシ

第四十九條 現役兵入營前及補充兵補充兵證書附與後其ノ年十一月三十日以前ノ者以下同シ 轉籍シタルトキハ

十四日以内ニ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出ヘシ但東京

市、京都市、大阪市ニ在テハ區長町村ニ在テハ町村長ヲ經由スヘシ

其ノ轉籍聯隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルトキハ舊住地聯隊區司令官又ハ警備隊司

令官ヨリ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通報スヘシ

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上壹圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十條 現役兵入營前及補充兵寄留若クハ十四日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキ

ハ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ヲ定メ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ

警備隊司令官ニ届出ヘシ其ノ復歸シタルトキ亦届出ヘシ但東京市、京都市、大阪市

ニ在テハ區長町村ニ在テハ町村長ヲ經由スヘシ

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタルトキ

ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第七章 雜則

第五十一條 徵兵令第十二條ニ依リ現役ニ服センコトヲ志願スル者ハ其ノ願書ニ戶

主或ハ後見人連署シ身元證書ヲ添ヘ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ九月一日以前自己

ノ服役セント欲スル軍隊又ハ海兵團ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但軍隊又ハ海兵團遠

隔ノ地ニ居住ノ者ハ徵兵檢査ノ際聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ申立テ身體

檢査ヲ受ケ合格ノ者ハ合格證書ヲ願出ルコトヲ得

檢査ノ爲メ往復ノ旅費及入營旅費ハ自辨トス

第五十二條 第五十一條ニ依リ服役ノ許可ヲ受ケタル者ハ入營前本籍地ノ市町村長

ニ届出ヘシ

第五十三條 他ノ徵募區ニ寄留シ其ノ地ニ於テ身體檢査ヲ受ケンコトヲ冀望スル者

ハ本籍及寄留地徵募區ノ檢査開始前寄留地ノ島司郡市長東京市、京都市、大阪市ニ

願出テ且其ノ由ヲ本籍ノ市町村長ニ届出ヘシ

島司郡市長其ノ願ヲ許可シタルトキハ直ニ之ヲ本籍地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ

第一項ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十四條 徵兵令第二十二條ニ當ル者ハ同徵募區内其ノ年ノ徵集ニ應スヘキ壯丁

ノ戶主二名ノ保證書ヲ添ヘ三月一日迄ニ三月一日後抽籤迄ニ事故ノ生 聯隊區徵兵



官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ但其ノ事故二年以上繼續スル者ハ毎年願出テ其ノ三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ本文ノ保證書ヲ添ヘ届出ヘシ  
前項ノ願書及届書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十五條 徵兵令第二十三條第一項ニ當ル者ハ學校長ノ證明書同條第二項ニ當ル者ハ公使領事又ハ貿易事務官ノ證明書ヲ添ヘ三月一日迄ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ

公使領事及貿易事務官ヲ置カサル國ニ在ル者及一定ノ地ニ在留セサル旅行ノ者ハ其ノ徵集猶豫願書ニ海外旅券ヲ受取リタル官廳ノ證明書ヲ差出スヘシ

公使領事及貿易事務官ヲ置キタル國ニ在ル者ト雖徵集猶豫ノ願ヲ差出ストキ未ダ公使領事又ハ貿易事務官ノ證明書ヲ得サルトキハ之ニ換フルニ海外旅券ヲ受取リタル官廳ノ承認書ヲ添ヘ差出シ置キ追テ證明書ヲ差出スコトヲ得

本條ノ願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十六條 明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ニ當ル者ハ其ノ移住ノ年月日及生業ノ狀況ヲ詳記シ毎年三月一日迄ニ聯隊區徵兵官ニ願出ヘシ  
前項ノ願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十七條 徵兵令第二十三條第一項ノ事故止ミタル者ノ届書及同條第二項ノ歸朝シタル者ノ届書ハ町村長ヨリ其ノ年ノ壯丁名簿進達前ニ在テハ其ノ名簿ト共ニ進達後ニ在テハ受領ノ日ヨリ三日以内ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ差出スヘシ  
市長ハ前項ノ届書ヲ聯隊區徵兵署若クハ聯隊區聯合徵兵署開設ノトキ同署ニ提出スヘシ

第五十八條 疾病傷痍或ハ犯罪等ニテ身體検査ヲ受ケ難キ者及志願兵出願中ノ者ハ書面ヲ以テ検査當日迄ニ島司郡市長ニ届出ヘシ其ノ疾病傷痍ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ

島司郡市長ニ差出ス届書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス  
本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十九條 疾病傷痍或ハ犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ書面ヲ以テ入營當日迄ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出ヘシ其ノ疾病傷痍ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ其ノ届書ニハ市町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス  
本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス



第六十條 徵兵署ノ諸費、壯丁及抽籤總代人ノ旅費、現役兵入營ノ旅費、徵兵參事員ノ手當金、旅費、ハ官給ス

第六十一條 第四十條ニ依リ更ニ處分ヲ爲ストキハ臨時徵兵署ヲ開設スルコトヲ得  
第六十二條 島嶼ニ於テ本條例中ノ條規ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長、地方長官協議ノ上適宜ノ方法ヲ設クルコトヲ得

第六十三條 徵兵令ヲ施行セサル地ニ寄留ノ者ハ寄留地最寄ノ徵募區ニ於テ身體檢査ヲ受クルコトヲ得其ノ願出手續及取扱ハ第五十三條ノ例ニ準ス  
韓國在留ノ者ニ在テモ前項ノ例ニ依リ便宜ノ徵募區ニ於テ身體檢査ヲ受クルコトヲ得

第六十四條 徵兵令ヲ施行セサル地ヨリ施行ノ地ニ轉籍シタル者ハ其ノ年又ハ翌年ノ徵集ニ應セシム但年齡二十六歳ヲ過キ轉籍シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

附則

第六十五條 第七師團ノ兵員ハ當分第一第二第七及第八師管ヨリ徵集ス但シ第七師管外ヨリ徵集スル者ノ入營ニ係ル取扱ハ第四十三條近衛、海軍入營兵ノ例ニ依ル  
第六十六條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ未タ郡制ヲ施行セサル郡

ニ在テハ其ノ郡内ニ於テ四名ヲ選舉シ當選ノ者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ選舉人被選舉人資格、選舉ノ方法及任期ハ總テ府縣會議員ノ例ニ依ル

第六十七條 本條例ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス



三十三年  
四月省令  
第八號參  
看

三十年四  
月省令第  
七號參看

●陸軍省令第十號 (明治二十九年四月二十三日)

徵兵事務條例施行細則

第一條 條例第三十一條ノ壯丁名簿ハ附錄第一様式ニ依リ之ヲ作り一市東京市京都  
市大阪市及  
市北海道ノ區一町村ヲ一冊ト爲シ册尾ニ其ノ人員ノ總計ヲ記シ市町村長東京市京都  
市大阪市及  
市在テハ區長ニ署名押印スヘシ

第二條 徵兵令第八條第二十五條但書及明治二十八年勅令第百二十六號第三條ニ當ル者ハ市町村長東京市、京都市、大  
阪市ニ在テハ區長之ヲ調査シ人名書各事項ヲ頭書スヲ作り壯丁名簿ニ添  
附スヘシ

第三條 島司郡市長ハ毎年一月一日調ヲ以テ其ノ年ノ壯丁人員及前年假決ノ人員ヲ  
同月三十一日迄ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知シ聯隊區司令官及警備隊  
司令官ハ壯丁人員ヲ取纏メ二月十五日迄ニ師團長ニ報告シ師團長ハ三月一日迄ニ  
之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

前項ノ人員中明治二十八年勅令第百二十六號第三條及明治三十年勅令第百五十  
八號第二項ニ當ルヘキ人員ハ之ヲ別記スヘシ

第四條 聯隊區徵兵署聯隊區聯合徵兵署及警備隊區徵兵署ハ島司郡市長ニ於テ適當



ノ家屋ヲ選定シ要スレハ吏員ヲ派シテ豫メ準備シ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官  
到著ノ上之ヲ開設スヘシ

一 徵募區ニ二箇所以上聯隊區徵兵署ヲ設ケントスルトキハ聯隊區徵兵官豫メ師管  
徵兵官ノ認可ヲ受ケ一箇所概テ壯丁百七十人 交通不便ノ地  
ニ在テハ適宜ヲ召集スヘキ地ニ設ク  
ヘシ

第五條 聯隊區徵兵署警備隊區徵兵署開設日割既ニ定マルトキハ島司郡市長 東京市、  
大阪市ニ在  
テハ區長 ハ其ノ徵募區又ハ檢査區内ニ於テ毎日檢査ヲ受クヘキ壯丁ノ順序ヲ定  
メ期日ニ至リ壯丁ヲ徵兵署ニ出頭セシムヘシ

第六條 身體檢査ヲ行フトキハ島廳郡市書記 東京市、京都市、大阪  
市ニ在テハ區書記  
ハ壯丁ヲ呼出シ軍  
醫ハ徵兵檢査規則ニ依リ身體ヲ檢査シ體格ノ等位其ノ他所要ノ件ヲ壯丁名簿 前年  
決名簿中檢査ヲ受クヘニ記入シ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ差出スヘシ  
キ者ノ名簿ヲ含有ス

第七條 身體檢査ヲ行フニ當リ壯丁ヲシテ裸體ナラシムルトキハ勉メテ別室若クハ  
隔障内ニ於テスヘシ

第八條 身體檢査ハ每年四月中旬ヨリ九月下旬迄ノ間ニ於テ之ヲ行フヲ例トス

其ノ日割表ハ附錄第十二様式ニ依リ之ヲ作り聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ師  
團長ニ報告シ師團長ハ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第九條 徵兵令第二十條第二十一條第二十二條ニ依リ徵集延期ニ属スル者徵兵令第  
二十三條及明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ニ依リ徵集猶豫ニ属スル者並ニ  
徵兵令第十九條ニ依リ兵役免除ニ属スル者ニハ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署  
ニ於テ附錄第二第三様式ニ依リ徵集延期證書徵集猶豫證書兵役免除證書ヲ作り市  
ハ市長 東京市、京都市、大  
阪市ニ在テハ區長 ヨリ本人ニ付與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人  
ニ付與セシムヘシ

徵集免除ニ屬シ國民兵役ニ服スル者ニハ前項ノ例ニ依リ本人ニ達スヘシ

第十條 徵兵令第二十二條ノ願ヲ許可セサル者及同條ノ事故繼續シテ三箇年ヲ過ク  
ルモ仍ホ止マサル旨届出タル者ニシテ徵集免除ニ属セサル者ニハ其ノ裁決書ヲ市  
ハ市長 東京市、京都市、大  
阪市ニ在テハ區長 ヨリ本人ニ付與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人  
ニ付與セシムヘシ

明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ノ願ヲ許可セサル者亦同シ

第十一條 陸軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ例リ之ヲ選フヘシ



- 一 歩兵ハ身體強健ニシテ勞力及遠足ニ堪ユル者
  - 二 騎兵ハ成ルヘク馬匹ノ使用ニ慣レ體格ハ輕捷ニシテ筋肉肥滿ニ過キサル者
  - 三 砲兵ハ體力強大ニシテ視力清明ナル者
  - 四 工兵ハ成ルヘク工兵ノ作業ニ適當シ膂力アル者
  - 五 輜重兵砲兵輸卒及輜重輸卒ハ成ルヘク馬匹ノ使用ニ慣レ且膂力アル者
  - 六 砲兵助卒ハ身體強健ニシテ膂力アル者
  - 七 職工ハ成ルヘク其ノ職ニ從事セシ者
  - 八 看護卒ハ成ルヘク患者ノ取扱ニ慣レタル者
- 第十二條 海軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選フヘシ
- 一 水兵ハ成ルヘク帆、錨、舵、櫓等ノ使用ニ慣レタル者
  - 二 機罐兵ハ成ルヘク汽機汽罐ノ取扱又ハ火焚ノ業ニ慣レタル者
  - 三 軍樂生ハ齒列齊正ニシテ且指節ノ強剛ヲ有ラル者
  - 四 木工及鍛冶ハ成ルヘク其ノ職業ニ慣レタル者
  - 五 看護ハ成ルヘク患者ノ取扱ニ慣レタル者
  - 六 主廚ハ成ルヘク割烹ノ職ニ慣レタル者

- 第十三條 條例第二十七條ノ諸名簿ハ種類ヲ分チ之ヲ編綴シ冊尾ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官署名押印スヘシ
- 公權停止中若クハ逃亡失踪ノ爲メ其ノ年徵集スルコト能ハサル壯丁ハ徵集延期名簿ニ志願兵出願中及認可ヲ受ケタル者六週間現役ニ服スヘキ者ハ徵集猶豫名簿ニ編入シ各假決ノ區畫ニ其ノ事由ヲ記スルモノトス
- 第十四條 聯隊區ニ於テ歩兵ノ要員ヲ充スコト能ハサルトキハ聯隊區司令官ヨリ之ヲ師團長ニ具狀シ師團長ハ師管内他ノ各聯隊區ニ配賦スヘシ其ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス
- 師管内ニ於テ要員ヲ充タシ能ハサルトキハ師團長ハ陸軍大臣ニ具狀スヘシ
- 第十五條 徵兵令第二十三條及明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スヘキ者ニハ身體檢査ヲ施行セス
- 第十六條 疾病傷痕ノ爲メ身體檢査ニ出頭セサル者ハ時宜ニ依リ其家ニ就キ檢査スヘシ
- 第十七條 抽籤施行ニ先タテ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署若クハ聯隊區聯合徵兵署ニ於テ合格者ノ人員ヲ調査シ兵種及甲乙兩種ニ分チ籤札ヲ作ルヘシ



籤ノ番號ハ甲乙兩種各合格者ノ數ニ應シ第一番ヨリ起スヲ例トス然レトモ抽籤ノ列ニ加ヘサル者アルトキハ現役ニ編入スルノ順序ヲ定ムル爲メ之ニ首位ノ番號ヲ附著シ其ノ次番號ヨリ籤番號ヲ起スヘシ

第十八條 籤札ハ附録第四様式ニ依リ之ヲ作り籤箱ニ納レ之ヲ封鎖シ徵兵官徵兵參事員列席ノ前ニ置キ其ノ封ヲ披キ徵兵署事務員籤丁名簿ノ順序ニ氏名ヲ呼ヒ抽籤總代人ニ之ヲ抽カシム

第十九條 條例第二十九條ノ抽籤名簿ハ附録第五様式ニ依リ之ヲ作り冊尾ニ徵兵官署名押印スヘシ

第二十條 抽籤總代人ハ抽ク所ノ番號ヲ高聲ニ呼ヒ其ノ籤札ヲ徵兵署事務員ニ渡シ徵兵署事務員ハ之ヲ籤丁名簿氏名ノ頭ニ貼附シ徵兵署印章ヲ以テ割印ヲ爲シ一人毎ニ之ヲ截チ切り總代人ニ交付スヘシ

第二十一條 身體檢査ニ合格シタル壯丁中讀書算術ヲ能クシ且身元確實ナル者ニシテ抽籤ノ法ニ依ラス現役ニ服センコトヲ志願スル者アルトキハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ許可スルコトヲ得

第二十二條 現役兵及補充兵ノ編入順序ハ左ノ如シ

- 一 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者二人以上ナルトキハ年齢ノ順序ニ從テ第二項第三項第四項第六項第七項第八項亦同シ
  - 二 甲種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者
  - 三 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者
  - 四 第二十一條ニ依リ現役志願ヲ許可シタル者
  - 五 甲種合格者ニシテ抽籤ノ者番號ノ順序ニ從テ第九項亦同シ
  - 六 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者
  - 七 乙種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者
  - 八 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者
  - 九 乙種合格者ニシテ抽籤ノ者
- 第二十三條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第三十一條ノ處分ヲ爲シタルトキハ附録第六様式ニ依リ現役兵證書及補充兵證書ヲ作り市ハ市長ヲ經テ本人ニ付與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ島司郡長及町村長ヲ經テ本人ニ付與スヘシ但東京市京都市



大阪市ニ在テハ尙ホ區長ヲ經由スヘシ

要員超過ノ爲メ國民兵役ニ服スル者ニハ前項ノ例ニ依リ其ノ由ヲ本人ニ達スヘシ

第二十四條 條例第三十一條ノ諸名簿ハ種類ヲ分テ編綴シ冊尾ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官署名押印スヘシ

第二十五條 條例第三十四條ノ徵兵表ハ附錄第七様式ニ準シ之ヲ作ルヘシ

第二十六條 壯丁名簿進達前市ニ在テ他ノ市町村ニ轉籍スル者アルトキハ市町村長

ヨリ本人徵兵適齡屆書ヲ添ヘ轉籍地ノ市町村長ニ通知スヘシ但シ原籍地東京市、京都市、大阪市ナルトキハ區長ヨリ又轉籍地同ニ市ナルトキハ區長ニ通知スヘシ

第二十七條 壯丁名簿進達後條例第三十一條ノ處分前名簿ニ關スル異動ヲ生シタル者若クハ他ノ市町村ヨリ入籍シタル者アルトキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ抽籤前ハ島司郡長其ノ名簿ヲ訂正加除シ抽籤後ニ在テハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

市ニ在テ壯丁名簿調製後抽籤前本條ニ當ル者アルトキハ市長東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長ノ名簿ヲ訂正加除シ抽籤後條例第三十一條ノ處分前ニ在テハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第二十八條 現役兵入營前及補充兵補充兵證書付與後其ノ年ノ名簿ニ關スル異動轉籍ヲ生シタルトキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡長ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

市ニ在テ前項ノ異動ハ市長之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ但東京市京都市大阪市ニ在テハ區長ヨリ聯隊區司令官及市長ニ通知スヘシ

第二十九條 壯丁名簿受領後市ニ在テ抽籤前徵募區外ニ轉籍スル者アルトキハ島司郡市長ヨリ壯丁名簿若クハ條例第二十七條ノ名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知スヘシ但シ原籍地東京市、京都市、大阪市ナルトキハ區長ヨリ又轉籍地同ニ市ナルトキハ區長ニ通知スヘシ

第三十條 身體檢査後抽籤前ハ他ノ徵募區ニ轉籍スルモ總テ舊徵募區ニ於テ之ヲ處分シ其ノ合格者ハ新舊徵募區ノ最高番號ヲ率トシ比例ヲ以テ轉籍地徵募區同等番號ノ上位ニ列セシム但轉籍地徵募區現役兵補充兵ノ裁決後ニ係リ要員ニ超過スルトキハ順次之ヲ繰下クヘシ

身體檢査前抽籤ヲ終リタル徵募區ニ轉籍シタル者アルトキハ成ルヘク其ノ年便宜ノ徵兵署ニ呼出シ身體檢査ヲ爲シ置クヘシ



第三十一條 抽籤後徵集延期徵集猶豫若クハ入營延期翌年回ト爲リタル者ノ名簿ニ關スル異動ヲ生スル者アルトキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡長ハ其ノ名簿ヲ訂正加除スヘシ但市ニ在テハ市長東京市、京都市、大阪市の市長之ヲ訂正加除スヘシ其ノ徵募區外又ハ檢査區外ニ轉籍スル者ハ島司郡市長ヨリ前項ノ名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知スヘシ但シ原籍地東京市、京都市、大阪市ナルトキハ區長ヨリ又轉籍地同三市ナルトキハ區長ニ通知スヘシ

第三十二條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第四十九條現役兵入營前及補充兵轉籍ノ通報ヲ受ケタルトキハ之ヲ島司郡市長ニ通知シ島司郡長ハ町村長ニ達スヘシ但シ東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長ニモ通知スヘシ

第三十三條 徵兵令第十三條第五項及條例第六十四條ニ當ル者アルトキハ町村長ハ戶籍ニ基キ壯丁名簿ヲ作り島司又ハ郡長ニ差出シ市ニ在テハ市長其ノ名簿ヲ作ルヘシ但シ東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長其ノ取扱ヲ爲スヘシ

第三十四條 現役兵入營ノ期ニ先タチ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ現役兵入營地若クハ集合地ニ到ル日數ヲ量リ召集ノ場所及日時ヲ定メ島司郡市長及町村長ヲ經テ之ヲ各自ニ達スヘシ但シ東京市、京都市、大阪市ニ在テハ尙ホ區長ヲ經由スヘシ

聯隊區外又ハ警備隊區外ニ轉籍シタル者ニ在テハ舊住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ其ノ召集ノ場所及日時ヲ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知シ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ前項ノ例ニ依リ之ヲ各自ニ達スヘシ

第三十五條 條例第四十三條及第六十五條ニ依ル集合地ハ左ノ如シ

麻布、橫濱、高崎、長野、佐倉、水戸、本郷、宇都宮聯隊區ハ	近衛兵集合地	東京	海軍兵集合地	橫須賀	第七師團	宇都宮
仙臺、福島聯隊區ハ	同	白河	同	白河	同	仙臺
新發田、柏崎聯隊區ハ	同	直江津	同	直江津	同	仙臺
弘前、盛岡、秋田、山形聯隊區ハ	同	仙臺	同	仙臺	同	青森
名古屋、津、豊橋、静岡聯隊區ハ	同	沼津	同	四日市		
金澤、富山聯隊區ハ	同	直江津	同	敦賀		
鯖江、岐阜聯隊區ハ	同	名古屋	同	敦賀		
大阪、和歌山、大津、京都聯隊區ハ	同	京都	同	神戸		
福知山、神戸、姫路、鳥取聯隊區ハ	同	神戸	同	姫路		
廣島、尾道、山口、濱田聯隊區ハ	同	尾道	同	吳		



丸龜、德島、松山聯隊區ハ	同	丸龜	同	丸龜
高知聯隊區ハ	同	神戶	同	神戶
熊本、大村、鹿兒島、宮崎、小倉、大分、福岡、佐賀聯隊區ハ	同	門司	同	佐世保
札幌、函館、旭川、釧路聯隊區ハ	同	青森	同	青森
對馬警備隊區ハ	同	門司		

第三十六條 東京衛戍及大阪衛戍ニ入營セシムル現役兵ハ條例第四十三條但書ニ依リ引率員ヲ附シ之ヲシテ當該隊長ニ交附セシム對馬要塞砲兵隊ニ入營セシムル現役兵亦同シ

第三十七條 近衛師團第七師團及海軍現役兵入營ノ期ニ先タチ近衛師團第七師團司令部及海兵團ニ於テ入營兵集合地ヨリ入營地ニ到ル日數ヲ量リ集合地到着ノ日割ヲ定メ豫メ之ヲ各聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第三十八條 條例第四十四條ノ入營延期願濟ノ者其ノ他事故不參ノ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ入營地或ハ集合地派遣ノ聯隊區又ハ警備隊司令部員聯隊區司令部員所在ノ入營地ニ在テハ聯ヨリ各隊長又ハ近衛師團若ハ海軍入營兵受領員ニ其ノ由ヲ通知スヘシ

第三十九條 條例第四十六條ニ依リ第一補充兵若クハ海軍補充兵ヲ以テ現役兵ノ缺

員ヲ補フニハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ其ノ取扱ヲ爲スヘシ但他ノ聯隊區又ハ警備隊區ニ轉籍シタル者ニシテ入營セサル者ノ補充ハ轉籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ノ通知ヲ得テ其ノ取扱ヲ爲スヘシ

現役兵入營後ノ補充ハ各隊長又ハ海兵團長ヨリ當該聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スルモノトス

第四十條 入營地又ハ集合地派遣ノ聯隊區司令部員又ハ警備隊司令部員ハ現役兵交附ノ際ニ於テ永久兵役ニ堪ヘ難キ者ト認メタル者アルトキハ一時入營ヲ差止メ其ノ診斷證書ヲ添ヘ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ具申スヘシ

第四十一條 現役兵第一補充兵及現役兵ニ繰上ケタル海軍補充兵ハ島司郡市長東京市、京都市、大阪市ヨリ各自ノ戶籍寫ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送附シ聯隊區司令官ハ第一補充兵ニシテ現役兵ニ繰上ケサル者ヲ除クノ外之ヲ各隊長又ハ海兵團長ニ送附スヘシ

第四十二條 條例第四十九條及本則第二十八條ニ當ル現役兵入營前ノ異動ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第四十九條ノ異動ハ轉籍地ヨリ各隊長又ハ海兵團長ニ通知スヘシ



第四十三條 現役兵入營前徵集延期若クハ入營延期翌年回ト爲リタル者又ハ兵役免除ト爲リタル者ノ名簿ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ島司郡市長ニ送附スヘシ但東京市京都市大阪市ニ在テハ尙ホ市長ヨリ區長ニ送附スヘシ  
前項ノ名簿中入營延期翌年回ト爲リタル者ノ名簿ハ島司郡市長 東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長之ヲ徵集延期名簿ニ編入スヘシ

第四十四條 補充兵ニシテ他ノ徵募區ニ轉籍 抽籤後其ノ年十一月三十日迄ニ係ルモノヲ包含スシタル者ハ新舊住地徵募區同種補充兵最高ノ抽籤番號ヲ率トシ比例ヲ以テ相當番號ノ上位ニ列セシムヘシ

第四十五條 前條ノ轉籍者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ島司郡市長ニ通知スヘシ但シ東京市、京都市、大阪市ニ在テハ尙ホ區長ニ通知スヘシ  
其ノ轉籍聯隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官其ノ名簿ヲ添ヘ舊住地徵募區ノ同種補充兵最高ノ抽籤番號ヲ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第四十六條 現役兵入營前及補充兵ニシテ轉籍シタル者ノ現役兵證書、補充兵證書ハ總テ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ訂正スヘシ

第四十七條 現役兵證書、補充兵證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタル者ハ更ニ下渡ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ請求シ徵集延期證書、徵集猶豫證書及兵役免除證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタル者ハ更ニ下渡ヲ島司郡市長 東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長ニ請求スヘシ  
第四十八條 條例第五十條ノ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ハ成年以上ノ男子ニ限ル

第四十九條 條例第五十三條及第六十三條ニ依リ他ノ徵募區ニ於テ身體檢査ヲ受クルコトヲ許可シタルトキハ島司郡市長ハ附録第一様式ニ準シ假壯丁名簿ヲ作り徵兵署ニ提出スヘシ

前項ノ者身體檢査終ルトキハ壯丁名簿ニ檢査ノ結果及兵種選定ノ見込ヲ記入シ直ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ヨリ本籍地ノ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ送附スヘシ

第五十條 條例第五十三條及第六十三條ニ依リ他ノ徵募區ニ於テ檢査ヲ受ケタル者本籍徵募區ノ抽籤前日迄ニ前條第二項ノ名簿到達セサルトキハ其ノ年ノ檢査成績ニ依リ翌年假決若クハ終決ノ處分ヲ爲スヘシ

第五十一條 條例第五十一條ノ願書ハ附録第八様式ニ依リ身元證書ハ附録第九様式



ニ依リ合格證書ハ附録第十樣式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

附則

第五十二條 第二條中明治二十八年勅令第二百二十六號第三條ニ當ル者ノ人名書ハ明治二十九年ニ於テハ明治二十八年陸軍省令第三十號第三項ニ依リ作りタル名簿ヲ以テ之ニ換フヘシ

第五十三條 本則中町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戶長又ハ之ニ準スヘキモノトス

第一樣式 (壯丁名簿)

用紙ハ美濃紙半葉

明治二十九年		明 治 何 年 壯 丁	住 所	府(縣)國郡(市)町村大字番地
體 格	結 終	假 決	兵 種 番 號	身 分 職 業
等 位	現 役 兵 (第 一 補 充 兵) (補 充 兵)	徵 集 延 期 ○、○、○、○、○、○	甲 (乙) 種 何 兵 第 何 番	華 (士) 族 (平 民) 何 職 (無 職 業)
身 長	考 備	誕 生	氏 名	某 (長 (次) 男) 兄 (弟) 本 人 戶 主 ナレハ 戶 主 (家 族) 家 屋 ヲ 有 ス 何 主 ト 記 ス ヘ シ 某
	戶 主 (家 族) 直 接 國 稅 何 圓 ヲ 納 ム 戶 主 (家 族) 家 屋 ヲ 有 ス 年 月 日 何 罪 ニ 依 リ 何 刑 ニ 處 セ ラ ル 年 月 日 何 罪 ニ 依 リ 罰 金 ニ 處 セ ラ ル	年 月 日		

名 簿		格	
視 力	辨 色 力	關 節 運 動	摘 要
一 般 造 構	各 部 造 構		

曲尺七寸

- 一 職業ハ現ニ從事スル所ノ職業ヲ記シ兼業ノ者ハ之ヲ併記ス假令ハ「農兼木工」「商兼鍛工」等ノ如シ但官吏教員醫師神職僧侶ノ類ハ總テ其ノ名稱ヲ身分職業ノ區畫ニ記スヘシ
- 二 兵種番號、假決、終決、體格ノ區畫ニハ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署又ハ聯隊區聯合徵兵署又ハ聯隊區司令部又ハ警備隊司令部ニ於テ其ノ事項ヲ記入スルモノトス
- 三 諸學生ハ其ノ種類ニ依リ備考區畫中ニ醫學學生、獸醫學學生、電信技術生、漢學生、何學校修業或ハ卒業等ヲ併記スヘシ
- 四 備考區畫ニ細則第二十二條第何項(第五項第九項ヲ除ク)相當ノ者タルコトヲ記入スヘシ
- 五 假決及備考區畫ニ餘白ナキニ至レハ附箋ヲ爲シ記入スヘシ



表 凡曲尺三寸

第二様式 (徵集延期「猶豫」證書)

用紙ハ厚紙

府(縣)郡(市)町(村)

某「長(次)男」兄(弟) 本人戸主ナレハ  
戸主ト記スヘシ  
氏 名

右徵集ヲ延期(猶豫)ス

年月日

何聯隊區徵兵署 印

凡曲尺五寸

裏

- 一 本證書ハ翌年徵兵假決ノ前日迄其ノ効ヲ有スルモノトス但翌年終決ノ處分ヲ受クヘキモノハ其ノ前日迄學校生徒徵兵令第二十三條及明治二十八年勅令第百二十六號第二條明治三十年勅令第百五十八號第三項ニ依リ徵集猶豫若クハ延期ニ属スル者ハ其年間トス
- 一 此證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ更ニ下渡ヲ島司郡市長 東京市、大阪市ニ在ニ請求スヘシ

表 凡曲尺四寸

- 一 本證書ハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ於テ假決ノ處分ヲ爲シタル者ニ限リ付與スルモノトス
- 二 本證書ハ島廳郡市役所 東京市、京都市、大阪ニ於テ調製スヘシ

第三様式 (兵役免除證書)

用紙ハ厚紙

何聯隊區

府(縣)郡(市)町(村)

某「長(次)男」兄(弟) 本人戸主ナレハ  
戸主ト記スヘシ  
氏 名

右兵役ヲ免ス

年月日

何聯隊區徵兵署 印

凡曲尺六寸

裏

此證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ更ニ下渡ヲ島司郡市長ニ請求スヘシ







本用紙ハ島廳郡市役所ニ於テ調製スヘシ

第六様式 (現役兵「補充兵」證書)

用紙ハ厚紙

表

又里尺四寸

凡曲尺六寸

何聯隊區

府(縣)郡(市)町(村)

某「長(次)男」兄(弟) 本人戸主ナレハ  
戸主ト記スヘシ

甲(乙)種何兵第何番 氏 名

右現役兵ニ徵募シ何兵第何聯(大)隊ニ編入ス (第二補充兵ニ編入ス)  
(補充兵ニ編入ス)

年月日 何聯隊區司令官氏名 印

裏

心得

- 一 現役兵ノ入營期日ハ十二月一日トス
- 一 警備隊諸兵ノ入營期日ハ第一期ハ十二月一日第二期ハ六月一日トス
- 一 砲兵輸卒ノ入營期日ハ第一期ハ十二月一日第二期ハ四月一日第三期ハ八月一日トス
- 一 輜重輸卒ノ入營期日ハ第一期ハ十二月一日第二期ハ三月一日第三期ハ六月一日第四期ハ九月一日トス
- 一 第一補充兵及海軍補充兵ハ現役兵ノ補缺トシテ召集セラレ又戰時若クハ事變ニ際シ召集セララルモノトス但第一補充兵ニシテ現役兵ノ補缺トシテ召集セララルハ其ノ服役ノ初年ニ限ル
- 一 第一補充兵ハ平常ニ在テ教育ノ爲メ百五十日以内召集セラレ又毎年一回勤務演習ノ爲メ六十日以内召集セラレ且簡閱點呼ヲ受クルモノトス
- 一 第二補充兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ第一補充兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキ召集セララルモノトス
- 一 疾病傷痍或ハ犯罪等ニテ入營シ難キ者ハ市町村長ノ奥書證印ヲ受タル書面ノ疾病傷痍ノ者ハ醫師ヲ以テ入營當日迄ニ聯隊區司令官(警備隊司令官)ニ届出ヘシ但町村ニ在テハ島司郡長ヲ經由スヘシ其ノ届出ヲ爲サハルトキハ科料ニ處セララルモノトス
- 一 入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ入營延期ヲ願ハントスルモノハ市町村長ノ奥書證印ヲ受ケタル書面ノ父母疾病危篤ノ者ハ醫師ヲ以テ



- 聯隊區司令官(警備隊司令官)ニ願出ヘシ
- 一 故ナク入營ノ期ニ後レ十日戰時ハヲ過クルトキハ禁錮ノ刑ニ處セラルモノトス
  - 一 轉籍シタルトキハ十四日以内ニ島司郡市長及町村長ヲ經テ聯隊區司令官(警備隊司令官)ニ届出ヘシ其届出ヲ爲サ、ルトキハ科料ニ處セラル、モノトス
  - 一 寄留若クハ十四日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキハ召集ノ命ヲ通報スヘキ者ヲ定メ島司郡市長及町村長ヲ經テ聯隊區司令官(警備隊司令官)ニ届出ヘシ復歸シタルトキハ亦其ノ由ヲ届出ツヘキモノトス
  - 此ノ届出ヲ爲サ、ル者及通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ遲緩シタルトキハ科料ニ處セラル、モノトス但補充兵服役中ノ通報人ニ在テハ拘留ニ處セラル、モノトス
  - 一 此ノ證書ハ現役兵ハ入營迄補充兵ハ服役中其ノ効ヲ有スルモノトス
  - 一 此ノ證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ更ニ下渡ヲ島司郡市長ニ請求スヘシ

- 一 表面「何兵第何聯(大)隊ニ編入ス」ヲ近衛兵ニ在テハ「近衛何兵ニ編入ス」騎兵及砲兵旅團兵ニ在テハ「何旅團兵ニ編入ス」海軍兵ニ在テハ「何海兵團ニ編入ス」ト記スヘシ第一、第二、第八師管ヨリ徵集スル第七師團兵ニ在テハ「第七師團何兵ニ編入ス」ト記スヘシ

- 二 仙臺札幌弘前金澤ノ衛戍地ニ入營スヘキ砲兵輸卒輜重輸卒ヲ出スヘキ聯隊區ニ在テハ裏面第三項第四項ノ入營期日ハ徵兵事務條例第四十二條第三項ニ依リ記載スヘシ
  - 三 本證書用紙ハ聯隊區司令部警備隊司令部ニ於テ調製スヘシ
  - 四 抽籤後裁決迄ニ他ノ徵募區ニ轉籍シタル者ハ表面氏名ノ右側ニ新舊雙方ノ聯隊區名府縣郡市町村名ヲ記載スヘシ
- 第七様式ノ一 (徵兵表) 用紙ハ美濃紙

明治 何年 第何師管徵兵表 其一

種別	聯隊區							計
	步兵	騎兵	砲兵	砲兵輸卒	工兵	鐵道隊兵	輜重兵	
現								
陸								
師								
輜重輸卒								
輜重兵								
鐵道隊兵								
工兵								
砲兵輸卒								
砲兵								
騎兵								
步兵								
別								
年齡	二十歲	二十一歲	以上					



















考備	員	計
	重罪ノ刑ニ處セラレタル人員	
總計		

一 現役補充兵ノ區畫中甲種合格者ハ墨書シ乙種合格者ハ朱書スヘシ  
 一 現役中ノ人員區畫中陸軍海軍志願兵ニハ兵籍ニ編入シタル生徒ヲ含有ス  
 第七様式ノ三

明治何年第何師管徵兵表附錄壯丁身長表

區隊聯某	何	東京	聯隊區	
			廳府縣	
計	何	東京	五尺六寸以上	
			五尺五寸以上	
			五尺四寸以上	
			五尺三寸以上	
			五尺二寸以上	
			五尺一寸以上	
			五尺以上	
			四尺九寸以上	
			四尺八寸以上	
			四尺八寸未滿	
			四尺九寸未滿	
			計	

考備	總計	區隊備警某		區隊聯某		區隊聯某	
		計	何	計	何	計	何
一 本表ハ身體檢査ヲナシタル本籍壯丁ノ總員ニ就キ調製スヘシ但測尺セサルモノ	計						



ハ其人員ヲ聯隊區別ニテ備考中ニ記入スヘシ  
一 本表各廳府縣別ノ人員ノ計ハ壯丁體格表廳府縣別人員ノ計ニ符合スルモノトス



欠

MISSING







考 備	計	區 合 計			
		甲種	乙種	丙種	丁種
		戊種			

本表合計中體格種別ノ人員ハ壯丁體格表中同種類人員ノ計ニ符合スルヲ要ス其符合セサルモノハ備考中ニ事由及人員ヲ記入スヘシ

第八様式 (現役志願書)

現役志願書  
私儀徴兵令第十二條ニ依リ現役ニ服シ度候間服役ノ義御許可相成度別紙身元證書檢査合格證書ヲ添ユル者ハ「身元證書」相添ヘ父(母)(戸主)(後見人)連署ヲ以テ此段奉願候也

府(縣)郡(市)町(村)番地 寄留ノ者ハ寄留地ヲ併記スヘシ  
本人 名 印

年月日

同  
父(母)(戸主)(後見人) 氏 名 印  
歩(砲)(野戰砲)(要養砲)(工)(輜重)兵第何聯(大)隊(何海兵團) 近衛隊ニ出願スル者ハ兵種ノ上ニ近衛ノ二字ヲ加フヘシ 御中

父母ハ親權ヲ行フモノニ限ル親權ヲ行フ父(母)ナキトキハ戸主(後見人)連署ヲ要スルモノトス

第九様式 (身元證書)

身元證書  
府(縣)郡(市)町(村)番地華(士)族(平民)  
某長(次)男[兄(弟) 本人戸主ナレハ 戸主ト記スヘシ 氏 名  
年月日生

一 戶籍内ノ者  
一 妻 某 何某長(次)女 年月日婚姻  
一 父 某  
一 祖父 某  
一 長(次)男 某 年月日生  
一 母 某  
一 祖母 某



一兄 某 年月日生 一妹 某 年月日生  
 一何々

一戸主(家族)直接國稅何圓何錢ヲ納ム  
 一戸主(家族)家屋ヲ有ス(家屋ヲ有セス)  
 一尋常(高等)小學校卒業(何年級迄修業)  
 一何學校(塾)ニ於テ何學卒業(何學修業)  
 一現今何ノ職業ニ從事ス  
 一年月日何ノ賞トシテ何々ヲ受ク  
 一刑罰ヲ受ケタルコトナシ(年月何々ノ科ニ依リ何罰ニ處セラル)  
 一痘痘何回(天然痘)  
 右ノ通相違無之候也

本人 戸主(後見人)  
 年 月 日 氏 氏  
 名 名  
 名 名  
 名 名  
 年 月 日 何市(區)(町)(村)長 氏 氏  
 名 名

第十樣式 (合格證書)

用紙ハ聯隊區(警備隊區)司令部款名美濃野紙

徵兵令第十二條現役志願書 府(縣)何族(平民) 氏 名

一身長何尺何寸何分

一體格合格

一何兵ニ適當

右檢査合格ニ付此證書ヲ付與ス

年 月 日 何聯隊區司令官 氏 名  
 陸軍何等軍醫 氏 名

第十一樣式

明治何年某聯隊區徵兵署開設日割表







●勅令第十三號 (明治二十八年一月二十五日)

國民軍條例

第一條 國民軍ハ陸軍ニ屬シ主トシテ衛戍若クハ邊境ノ警備ニ充ツ

第二條 國民軍ハ國民兵ヲ以テ之ヲ編制ス

第三條 國民兵ノ召集及解散ハ勅命ニ依リ師團長之ヲ行フ

戒嚴ヲ宣告シ得ルノ權アル司令官時機切迫シテ通信斷絶シ命ヲ請フノ途ナキトキハ直ニ召集ヲ行フヲ得

第四條 國民軍幹部ハ必要ニ應シ現役豫備後備ノ陸軍將校、同相當官、准士官、下士ヲ以テ充ツルノ外左ニ掲クル者ヨリ選抜シテ之ニ充ツ

一 退役ノ陸軍將校、同相當官、准士官ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

二 元陸軍下士上等兵ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

三 國民兵中材幹技能アル者

第五條 陸軍後備兵ニシテ後備軍召集ニ加ハラサル者ハ特ニ國民軍ニ編入スルコトヲ得



第六條 第四條第二第三ニ當ル者ノ任官ハ陸軍武官官等表ニ依リ士官以上ハ師團長ノ具狀ニ由リ陸軍大臣之ヲ奏薦宣行シ其ノ他ハ師團長ノ認可ヲ得テ聯隊長、同等以上ノ權アル長官之ヲ行フ

第三條第二項ニ依リ召集ヲ行ヒタル司令官ハ召集員ニ士官以上ノ勤務ヲ命スルコトヲ得其ノ勤務ヲ命セラレタル者ノ身分取扱ハ其ノ官職ヲ有スル者ニ準ス  
前項ノ司令官師團長ニアラサルトキハ准士官以下ノ任官ニ付師團長ト同一ノ權ヲ有ス

第七條 國民軍幹部ノ進級ハ拔擢トス其ノ任官ハ前條ノ例ニ依ル

第八條 國民軍編制ノ爲メ召集セラレタル者及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者ハ其ノ間現役ニ準ス

第九條 第四條第二第三ニ該リ任官シタル者解散ノトキハ准士官以上ハ之ヲ退役トシ下士ハ其ノ官ヲ免ス

●陸軍省令第二十五號 (明治二十九年十二月五日)

國民軍條例第四條ニ依リ國民軍編入志願者ノ願出ニ關スル規程左ノ通定ム

三十三年  
五月省令  
第十號參  
看

- 一 國民兵役ニ在ラサル退役陸軍將校同相當官准士官及元陸軍下士上等兵看護手ニシテ國民軍編入志願ノ者ハ編入年數ヲ定メテ九月三十日迄ニ願出ヘシ又數次此ノ願出ヲ爲スコトヲ得
- 二 退役陸軍將校同相當官准士官ニ在テハ町村長郡長又ハ市長及本籍地所管聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヲ經テ師團長ニ願出ヘシ
- 三 元陸軍下士上等兵及看護手ニ在テハ町村長郡長又ハ市長ヲ經テ本籍地所管聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ願出ヘシ
- 四 前二項ノ願書ニハ住所生年月日及將校同相當官ニ在テハ元職、元下士ニ在テハ元官元職、元上等兵看護手ニ在テハ各其ノ等級ヲ記スヘシ
- 五 第二項又ハ第三項ニ依リ願出ル者アルトキハ師團長又ハ聯隊區司令官若クハ警備隊司令官ニ於テ所要ノ調査ヲ爲シ適當ト認ムル者ハ編入期日ヲ指定シテ之ヲ許可シ其ノ名簿ヲ作り當該司令部ニ備フヘシ
- 六 本令中郡長トアルハ島司、町村長トアルハ戸長及之ニ準スヘキ者ヲ包含シ市長



トアルハ東京市京都市大阪市及市制町村制ヲ施行セサル地方ノ區ニ在テハ區長ニ該當ス

●勅令第三百七十九號 (明治二十九年十二月一日)  
陸軍補充條例

第一章 總則

第二章 現役士官ノ補充

第一款 各兵科士官

第二款 監督部士官

第三款 衛生部士官

第四款 獸醫部士官

第五款 軍吏部士官

第三章 豫備役後備役將校並ニ同相當官ノ補充

第四章 現役下士ノ補充

第一款 憲兵科下士

第二款 歩、騎、砲、工、輜重兵科下士  
諸工長ヲ除ク

陸軍補充條例

三十三年十一月  
令第四百號  
三十二年  
參看



- 第三款 砲兵諸工長
- 第四款 蹄鐵工長
- 第五款 衛生部下士
- 第六款 軍吏部下士
- 第七款 軍樂部下士
- 第五章 豫備役後備役下士ノ補充
  - 第一款 各兵科下士
  - 第二款 衛生部下士
  - 第三款 軍吏部下士
- 第六章 現役上等兵ノ補充
  - 第一款 憲兵科上等兵
  - 第二款 步、騎、砲、工、輜重兵科上等兵
- 第七章 現役看護手ノ補充

- 第八章 現役樂手補ノ補充
- 第九章 特別補充
- 第十章 雜則

附則

陸軍補充條例

第一章 總則

- 第一條 本條例ハ陸軍將校、同相當官、下士、上等兵、看護手、樂手補ヲ補充スルノ方法ヲ規定ス
- 第二條 凡ソ將校、同相當官並ニ下士ノ缺員ヲ補充スルハ本條例ニ依ルノ外陸軍武官進級令及陸軍豫備後備武官進級令ニ依ル
- 第三條 將校、同相當官及下士ノ轉職ハ別ニ定ムル所ニ依ル
- 第四條 本條例ニ於テ單ニ隊長ト稱スルハ聯隊長、獨立隊長、警備隊司令官ヲ謂フ又聯隊長ト稱スルトキハ警備隊司令官、獨立隊長ヲ包含ス



本條例ニ於テ大隊長ト稱スルトキハ騎兵聯隊長、警備隊司令官、獨立隊長ヲ包含ス  
第五條 本條例ニ於テ實役停年ヲ筭スルハ七月一日ヲ以テス

第二章 現役士官ノ補充

第一款 各兵科士官

第六條 歩、騎、砲、工、輜重兵科現役士官ノ補充ハ士官候補生ニシテ少尉ノ資格ヲ備フル者ヲ以テス

憲兵科士官ハ他兵科ノ士官ヨリ轉科セシム

第七條 士官候補生ニ採用シ得ヘキ者ハ左ノ如シ但シ准士官下士兵卒一年志願兵ニアラサル者及陸軍諸生徒ハ採用ノ限ニアラス

- 一
- 二 官立、府縣立中學校若クハ文部大臣ノ指定シタル中學校ヲ卒業シ該校長ノ保證竝ニ入隊スヘキ隊長ノ承認ヲ得タル者
- 三 本條第二ニ掲クル中學校卒業者ト同等ノ學力ヲ有シ入隊スヘキ隊長ノ承認

三十一年三月勅令第四十八號除

ヲ得召募試験ニ及第シタル者

下士兵卒一年志願兵ニアラサル者及陸軍諸生徒ニハ前項第二第三ヲ適用セス

第八條 士官候補生ニ採用スヘキ人員ハ毎年陸軍大臣之ヲ定ム

第九條 士官候補生召募ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十條 陸軍大臣ハ士官候補生ニ採用スヘキ者ヲ裁定シ教育總監ヲシテ士官候補生ヲ命セシメ各兵隊入隊スヘキ隊長ノ承認ヲ得タル者ハ其ノ隊ニ配賦セシム但シ配賦ノ隊ハ教育總監ヨリ師團長ニ通知スヘシ

士官候補生ニハ士官學校分遣前概テ一箇年中央幼年學校出身者ハ概テ六箇月該隊ニ在テ下士兵卒ノ勤務雜役ヲ除ク及軍事學ヲ習得セシム

第十一條 一年志願兵ヨリ士官候補生ニ採用スル者ハ之ヲ命スルノ日其ノ服役ヲ免ス

第十二條 中央幼年學校出身ノ士官候補生ヲ各兵隊ニ配賦スルニハ左ノ四項ヲ顧慮スヘシ

三十一年九月勅令第二百七號參看



- 一 本人ノ冀望
  - 二 軍隊ノ必要
  - 三 學術優等者ノ平均
  - 四 砲兵隊鐵道隊ニハ數學優等者
- 第十三條 士官候補生入隊ノ上ハ隊長ハ某中隊ヲ選ビ之ニ編入シ該中隊長ヲシテ訓育ヲ掌リ諸勤務ノ訓練ニ任セシム
- 第十四條 士官候補生軍事學ノ教授ハ隊長、部下大尉若クハ中尉ヲシテ之ニ任セシム
- 第十五條 隊長ハ士官候補生ノ教育ニ就キ總テ其ノ責ニ任ス
- 第十六條 士官候補生中中央幼年學校出身ノ者ハ入隊ノ後直ニ上等兵ノ階級ヲ與ヘ二箇月ノ後ハ伍長ノ階級ニ六箇月ノ後ハ軍曹ノ階級ニ進メ其ノ他ノ者ハ入隊ノ後直ニ一等卒ノ階級ヲ與ヘ六箇月ノ後ハ上等兵ノ階級ニ八箇月ノ後ニ伍長ノ階級ニ一箇年ノ後ハ軍曹ノ階級ニ進ムルコトヲ得其ノ階級ヲ與ヘ若クハ階級ヲ進ムルハ

隊長ニ於テスヘシ

- 第十七條 士官候補生諸勤務ノ訓練ヲ終レハ之ニ任シタル中隊長ハ士官候補生諸勤務ヲ習得シタル保證書又軍事學ノ教授ニ任シタル士官ハ其ノ教授成績ノ報告書ヲ隊長ニ進達シ隊長ハ之ヲ審閱シ更ニ教育ノ完全ナルコトヲ確認シ師團長旅團長ノ下ニ在ル長ヲ經テニ上申ス師團長ハ各兵科士官候補生ノ連名簿ヲ製シ之ニ隊長ヨリ出ス所ノ書類ヲ添ヘ教育總監ニ移スヘシ
- 第十八條 教育總監ハ前條ノ書類ニ依リ士官候補生ノ士官學校ニ入校セシムヘキ者ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケ之ヲ師團長ニ移牒ス師團長ハ隊長ヲシテ本人ニ入校ヲ命セシム
- 第十九條 士官候補生士官學校ノ修學ヲ終リ卒業試験ニ及第シ歸隊シタルトキハ隊長之ニ見習士官ヲ命シ中隊ニ於テ六箇月以上士官ノ勤務ヲ習得セシム見習士官ノ命セラレタル士官候補生ノ身分ハ曹長ノ階級トス
- 第二十條 見習士官ノ教育ハ隊長自ラ其ノ責ニ任シ特ニ諸種ノ演習等精密且著實ニ



實施セシメ以テ其ノ學力ヲ實際ニ應用進歩セシムルコトヲ努ムヘシ

第二十一條 見習士官ヲ將校ニ選舉スルニハ隊長先ツ中隊長ヨリ本人ノ教育完全ニシテ將校タルヲ得ヘキ保證書ヲ得尙ホ隊長自ラ是認シタル後始メテ該隊ノ將校會議ニ附ス

第二十二條 將校會議ハ見習士官ヲ將校ト爲スノ可否ヲ議決スルモノトス

各將校ハ可否ノ答ヲ自ラ選舉報告書ニ記入シ自己ノ姓名ヲ署スヘシ但見習士官所屬ノ中隊長ニシテ保證書ヲ差出シタル選舉報告ヲ爲スノ限ニアラス

第二十三條 將校會議ニ於テ將校ノ答皆可ナル者ニ就テハ隊長其ノ選舉報告書ヲ一表ト爲シテ選舉報告表ヲ作り之ニ順序ヲ定メタル連名簿ヲ添ヘ少尉ノ資格ヲ備フルコトヲ師團長旅團長ノ下ニ在ル隊長ハ旅團長ヲ經テニ上申ス師團長ハ之ヲ陸軍大臣ニ進達ス若シ可答多數ナルモ幾分ノ否答アル者ニ就テハ其ノ理由ヲ選舉報告表ニ記入シテ上申スルコト前項ニ同シ  
之ニ反シ否答多數ナル者ニ就テハ選舉報告表ヲ添ヘ否決ノ理由ヲ上申ス但シ其ノ

手續ハ本條例第二十七條ニ依ル

第二十四條 士官候補生諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ス若クハ疾病ノ爲メ士官學校ヘ分遣シ得サル者又ハ士官學校分遣中卒業ノ目途ナク若クハ卒業試験ニ落第シ退校歸隊セシ者ニシテ尙ホ望ミアル者ハ一回限り次ノ入校期マテ所屬隊ニ止マラシムルコトヲ得但シ隊長ハ其ノ事由ヲ悉シ師團長旅團長ノ下ニ在ル隊長ハ旅團長ヲ經テニ上申シ其ノ認可ヲ請クヘシ師團長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ進達ス

第二十五條 前條ニ該ル者ノ士官學校入校手續ハ本條例第十七條及第十八條ニ依ル

第二十六條 士官候補生ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者ハ士官候補生ヲ免シ第

- 一 乃至第七ニ該ル者ハ其ノ階級ニ應シ本官ニ任シ又ハ兵卒ト爲シ豫備役ニ編入ス
- 一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 二 學力乏シクシテ士官候補生タルニ適セサル者
- 三 將校タルノ才能ニ乏シキ者
- 四 士官候補生タルヲ得ヘカラスト認メラレタル者



五 諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ス若ハ疾病ノ爲メ士官學校へ分遣シ得サル者本例第二十四條ニ該ル者ヲ除ク 又ハ疾病若ハ傷痍ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者

六 士官學校條例ノ規程ニ依リ退校歸隊シテ後來望ミナキ者

七 將校會議ニ於テ否決シタル者

八 疾病若ハ傷痍ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者

第二十七條 前條各事項ノ一ニ該ル者アルトキハ隊長其ノ事由ヲ悉シテ師團長旅團下ニ在ル隊長ハニ上申ス師團長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申シテ認可ヲ請ケ隊長ヲ旅團長ヲ經テシテ處分セシム

第二款 監督部士官

第二十八條 監督部現役士官ノ補充ハ現役各兵科大中尉又ハ一二等軍吏ニシテ經理學校卒業證書ヲ所持スル者ヲ以テス

第二十九條 前條ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ所要ニ應シ終末試驗成績ノ列序ニ從ヒ陸軍監督補ニ任ス

卒業證書ヲ所持スル者ハ監督補ニ任セララル迄願ニ依リ本職ノ儘在職地所管監督部ニ於テ實務ヲ見學スルコトヲ得但シ其ノ旅費ハ自辨トス

第三款 衛生部士官

第三十條 衛生部現役士官ノ補充ハ見習醫官、見習藥劑官ニシテ衛生部士官ノ資格ヲ備フル者ヲ以テス

第三十一條 見習醫官、見習藥劑官ニ採用シ得ヘキ者左ノ如シ

一 帝國大學醫科大學學生ニシテ陸軍出身志願者中適當ノ者ヲ選抜シテ陸軍衛生部依託學生ト爲シ同學ノ課程ヲ卒ヘタル者

二 高等學校醫學部若ハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル府縣立醫學校ノ生徒ニシテ陸軍出身志願者中適當ノ者ヲ選抜シテ陸軍衛生部依託生徒ト爲シ同學校ノ課程ヲ卒ヘタル者

三 軍醫學校生徒ニシテ卒業試驗ニ及第シタル者

第三十二條 見習醫官、見習藥劑官ハ陸軍省醫務局長之ヲ命シ陸軍大臣ノ認可ヲ請



ケ師團司令部所在地ノ歩兵隊ニ配賦シ該隊並ニ衛戍病院ニ於テ四箇月以上衛生部士官ノ勤務ヲ習得セシム但シ配賦ノ隊ハ醫務局長ヨリ師團長ニ通知スヘシ

第三十三條 見習醫官、見習藥劑官ノ身分ハ曹長ノ階級トス

第三十四條 見習醫官ノ教育ハ歩兵隊ノ高級醫官、見習藥劑官ノ教育ハ衛戍病院長其ノ責ニ任シ當該師團軍醫部長之ヲ監督ス但シ隊中ノ勤務ニ就テハ尙ホ隊長之ヲ監督ス

第三十五條 見習醫官、見習藥劑官士官ノ勤務ヲ習得シ終レハ師團軍醫部長先ツ該隊高級醫官若クハ衛戍病院長ヨリ本人ノ學術及勤務等衛生部士官タルヲ得ヘキ保證書又隊長ヨリ勤務品行等ニ關スル證明書ヲ得尙ホ軍醫部長自ラ是認シタル後衛生部士官選舉會議ニ附ス

第三十六條 衛生部士官選舉會議ハ師團軍醫部ニ之ヲ開キ議長ハ軍醫部長、議員ハ所在地一等軍醫、一等藥劑官以上ノ者トス其ノ可否ノ意見ハ選舉報告書ニ記入シ自己ノ姓名ヲ署スヘシ但シ前條ノ保證書ヲ差出シタル者ハ選舉報告ヲ爲スノ限ニ

アラス

第三十七條 選舉會議ニ於テ議員ノ答者可ナル者ニ就テハ軍醫部長其ノ選舉報告書ヲ一表ト爲シ選舉報告表ヲ作り之ニ順序ヲ定メタル連名簿ヲ添ヘ衛生部士官タル資格ヲ備フルコトヲ陸軍省醫務局長ニ上申ス醫務局長ハ之ヲ審査シ帝國大學醫科大學ノ課程ヲ卒ヘタル者ハ陸軍二等軍醫、陸軍二等藥劑官ニ其ノ他ノ者ニ在テハ陸軍三等軍醫、陸軍三等藥劑官ニ任用ノコトヲ陸軍大臣ニ上申ス

若シ可答多數ナルモ幾分ノ否答アル者ニ就テハ其ノ理由ヲ選舉報告表ニ記入シテ上申スルコト前項ニ同シ

之ニ反シ否答多數ナル者ニ就テハ選舉報告表ヲ添ヘ否決ノ理由ヲ上申ス但シ其ノ手續ハ本條例第三十九條ニ依ル

第三十八條 見習醫官、見習藥劑官ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者ハ見習醫官、見習藥劑官ヲ免シ第一乃至第六ニ該ル者ハ一等看護長ニ任シ豫備役ニ編入ス  
一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者



- 二 學力乏クシテ見習醫官、見習藥劑官ニ適セサル者
  - 三 士官タルノ才能ニ乏シキ者
  - 四 見習醫官見習藥劑官タルヲ得ヘカラスト認めラレタル者
  - 五 疾病若ハ傷痕ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者
  - 六 士官選舉會議ニ於テ否決シタル者
  - 七 疾病若ハ傷痕ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者
- 第三十九條 前條各事項ノ一ニ該ル者アルトキハ見習醫官ハ隊附高級醫官、見習藥劑官ハ衛戍病院長ヨリ其ノ事由ヲ悉シ師團軍醫部長隊附高級醫官ハ隊長ヲ經テニ上申シ軍醫部長ハ陸軍省醫務局長ニ醫務局長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申シテ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第四款 獸醫部士官

第四十條 獸醫部現役士官ノ補充ハ見習獸醫官ニシテ獸醫部士官ノ資格ヲ備フル者ヲ以テス

第四十一條 見習獸醫官ニ採用シ得ヘキ者左ノ如シ

- 一 帝國大學農科大學獸醫學科學生ニシテ陸軍出身志願者中適當ノ者ヲ選抜シテ陸軍獸醫部依託學生ト爲シ同學科ノ課程ヲ卒ヘタル者
- 二 帝國大學農科大學獸醫學實科生徒ニシテ陸軍出身志願者中適當ノ者ヲ選抜シテ陸軍獸醫部依託生徒ト爲シ同學實科ノ課程ヲ卒ヘタル者

第四十二條 見習獸醫官ハ陸軍省軍務局長之ヲ命シ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケ各師團ノ騎兵、野戰砲兵、輜重兵隊ニ配賦シ四箇月以上獸醫部士官ノ勤務ヲ習得セシム但シ配賦ノ隊ハ軍務局長ヨリ師團長ニ通知スヘシ

第四十三條 見習獸醫官ノ身分ハ曹長ノ階級トス

第四十四條 見習獸醫官ノ教育ハ該隊高級獸醫其ノ責ニ任シ師團獸醫部長之ヲ監督ス但隊中ノ勤務ニ就テハ尙ホ隊長之ヲ監督ス

第四十五條 見習獸醫官士官ノ勤務ヲ習得シ終レハ獸醫部長ハ先ツ該隊高級獸醫ヨリ本人ノ學術及勤務等獸醫部士官タルヲ得ヘキ保證書ヲ又隊長ヨリ勤務品行等ニ



關スル證明書ヲ得テ審査ノ上獸醫部士官ノ資格ヲ備フルト認メタル者ニ付テ順序ヲ定メ連名簿ヲ作り之ニ意見ヲ附シ保證書並ニ證明書ト共ニ陸軍省軍務局長ニ進達ス軍務局長ハ之ヲ審査シ帝國大學農科大學獸醫學科ノ課程ヲ卒ヘタル者ハ陸軍二等獸醫ニ同大學獸醫學實科ヲ卒ヘタル者ハ陸軍三等獸醫ニ任用ノコトヲ陸軍大臣ニ上申ス

前項ノ審査ニ於テ否認シタル者ハ第四十七條ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

第四十六條 見習獸醫官ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者ハ見習獸醫官ヲ免シ第一乃至第六ニ該ル者ハ一等蹄鐵工長ニ任シ豫備役ニ編入ス

- 一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 二 學力乏シクシテ見習獸醫官ニ適セサル者
- 三 士官タルノ才能ニ乏シキ者
- 四 見習獸醫官タルヲ得ヘカラスト認メラレタル者
- 五 疾病若ハ傷痍ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者

六 獸醫部士官ト爲ルヘキ資格ナシト認メラレタル者

七 疾病若ハ傷痍ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者

第四十七條 前條各事項ノ一ニ該ル者アルトキハ隊附高級獸醫其ノ事由ヲ悉シ隊長ヲ經テ師團獸醫部長ニ上申シ獸醫部長ハ陸軍省軍務局長ニ軍務局長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申シテ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第五款 軍吏部士官

第四十八條 軍吏部現役士官ノ補充ハ歩、騎、砲、工、輜重兵科特務曹長各兵科曹長軍吏部ニ等計手ニシテ經理學校卒業證書ヲ所持スル者及見習軍吏ニシテ三等軍吏ノ資格ヲ備フル者ヲ以テス

第四十九條 前條ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ所要ニ應シ終末試驗成績ノ列序ニ從ヒ陸軍三等軍吏ニ任ス

卒業證書ヲ所持スル者ハ二等軍吏ニ任セラルル迄所管監督部ニ於テ若クハ當該部隊ノ軍吏ニ附屬シ實務ヲ見學セシム



第五十條 見習軍吏ニ採用シ得ヘキ者ハ一年志願兵終末試験及第證書ヲ所持スル軍吏トス

第五十一條 一年志願兵終末試験及第證書ヲ所持スル軍吏生ニシテ現役軍吏志願ノ者ハ願書ヲ其ノ原所管ノ監督部長ニ差出スヘシ監督部長ハ之ヲ調査シ自己ノ意見書及考科表ヲ添ヘ陸軍省經理局長ニ進達スヘシ

第五十二條 陸軍省經理局長ハ前條ノ書類ヲ審査シ採用スベキ者ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケ見習軍吏ヲ命シ師團司令部所在地ノ歩兵隊ニ配賦シ該隊ニ於テ六箇月以上軍吏ノ勤務ヲ習得セシム但シ配賦ノ隊ハ經理局長ヨリ師團長ニ通知スヘシ見習軍吏ヲ命セラレタル者ノ本官ハ入隊ノ日ヲ以テ之ヲ免ス

第五十三條 見習軍吏ノ身分ヲ曹長ノ階級トス

第五十四條 見習軍吏ノ教育ハ該隊高級軍吏其ノ責ニ任シ師團監督部長之ヲ監督ス但シ隊中ノ勤務ニ就テハ尙ホ隊長之ヲ監督ス

第五十五條 見習軍吏士官ノ勤務ヲ習得シ終レハ隊長ハ高級軍吏ヨリ本人ノ學術、

勤務、品行等軍吏部士官ニ適當ナルヤ否ノ證明書ヲ得之ニ自己ノ意見ヲ附シ師團監督部長ニ移ス監督部長ハ之ヲ審査シ三等軍吏ノ資格ヲ備フル者ト否ヲ分チ意見書ヲ添ヘ其ノ書類ヲ陸軍省經理局長ニ進達ス經理局長ハ該書類ヲ審査シ意見書ヲ添ヘ陸軍大臣ニ上申スヘシ

第五十六條 見習軍吏ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者ハ見習軍吏ヲ免シ第一乃至第六ニ該ル者ハ一等計手ニ任シ豫備役ニ編入ス

- 一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 二 學力乏シクシテ見習軍吏ニ適セサル者
- 三 士官タルノ才能ニ乏シキ者
- 四 見習軍吏タルヲ得ヘカラスト認メラレタル者
- 五 疾病若ハ傷痕ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者
- 六 三等軍吏ト爲ルヘキ資格ナシト認メラレタル者
- 七 疾癩若ハ傷痕ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者



第五十七條 前條各事項ノ一ニ該ル者アルトキハ隊附高級軍吏其ノ事由ヲ悉シ隊長ヲ經テ師團監督部長ニ上申シ監督部長ハ陸軍省經理局長ニ經理局長ハ狀ヲ具シ陸軍大臣ニ上申シテ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第三章 豫備役後備役將校並ニ同相當官ノ補充

第五十八條 豫備役將校同相當官ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

- 一 一年志願兵終末試験及第證書ヲ得テ豫備役ニ入りタル者
- 二 將校同相當官中現役定限ニ滿タスシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入りタル者
- 三 豫備役准士官下士ニシテ士官ニ進級シタル者

第五十九條 前條第一ニ該ル者ヲ豫備役士官ト爲スヘキ爲メ現役ヲ終リタル次年ニ於テ尠クモ三箇月間原隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム但シ軍醫生、藥劑生及軍吏生ノ勤務演習ハ原所屬ニ於テスルト其ノ他ニ於テスルトハ師團長ノ認可ヲ請ケ師團監督部長若クハ軍醫部長之ヲ定ム

軍醫生、藥劑生及獸醫生ノ勤務演習ハ三箇月以内ニ短縮スルコトヲ得

第六十條 前條ノ勤務演習ハ本人ノ冀望ニ依リ他隊本籍地又ハ寄留地所在ノ隊ニ於テスルト其ノ

期ヲ翌年ニ延ハスト現役滿期ノ日ヨリ引續キ之ヲ爲ストハ師團長ノ許可ヲ請クヘキモノトス但シ他ノ師團ノ某隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サント欲スル者ハ師團長ヨリ他ノ師團長ニ照會スヘシ

第六十一條 勤務演習ノ時期ハ步兵ニ在テハ師團長他兵ニ在テハ各兵監、軍醫生藥劑生及軍吏生ニ在テハ師團監督部長若クハ軍醫部長之ヲ定メ獸醫生ニ在テハ本人ノ便宜ヲ斟酌シ原隊長之ヲ定ム

第六十二條 勤務演習ニ召集シタル者ハ其ノ演習ノ初ニ所テ隊長之ニ豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官又ハ豫備役見習軍吏ヲ命ス其ノ身分取扱及教育ハ現役見習士官、現役見習醫官、現役見習藥劑官、現役見習獸醫官又ハ現役見習軍吏ト同一トス

第六十三條 豫備役見習士官ハ勤務演習ノ終ニ於テ將校試験ヲ爲シ及第ノ者ヲ士官ニ選舉シ及任官ノコトヲ上申スルハ本條例第二十一條乃至第二十三條ノ例ニ依ル



但シ將校試験ノ方法ハ師團長之ヲ定ム

豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官及豫備役見習軍吏ハ勤務演習ノ終ニ於テ學術ノ試験ヲ爲シ其ノ及第者ヲ豫備役士官ニ選舉シ及任官ノコトヲ上申スルハ本條例第三十五條乃至第三十七條第四十五條及第五十五條ノ例ニ依ル

第六十四條 豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官又ハ豫備役見習軍吏ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ル者アルトキハ聯隊長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官ヨリ師團長旅團長ノ下ニ在ル聯隊長ハ旅團長ヲ經テニ上申シ許可ヲ得テ豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官又ハ豫備役見習軍吏ヲ免シ第一乃至第七ニ該ル者ハ曹長又ハ同相當官ニ任ス

一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

二 學力乏クシテ豫備役士官ニ適セサル者

三 豫備役士官タルノ才能ニ乏シキ者

四 豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官又ハ

豫備役見習軍吏タルヲ得ヘカラスト認メラレタル者

五 疾病若ハ傷痍ニ依リ一時服役ニ堪ヘサル者

六 前條ノ試験ニ落第シタル者

七 將校會議又ハ士官選舉會議ニ於テ否決シタル者若ハ豫備役三等獸醫、豫備役三等軍吏タル資格ナシト認メラレタル者

八 疾病若ハ傷痍ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘサル者及永久兵役ニ堪ヘサル者

第六十五條 前條第五又ハ第六ニ該ル者ニシテ尙ホ豫備役士官タランコトヲ冀望スル者ハ翌年ノ勤務演習ニ召集スルコトヲ得

第六十六條 後備役將校同相當官ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 豫備役將校同相當官ヨリ後備役ニ入りタル者

二 將校同相當官ニシテ現役定限年齢ニ滿テ後備役ニ入りタル者

三 後備役准士官下士ニシテ士官ニ進級シタル者

第四章 現役下士ノ補充



第一款 憲兵科下士

第六十七條 憲兵科下士ノ補充ハ憲兵上等兵ニシテ二箇年以上憲兵ノ職務ニ服シ品行方正志操確實ナル者及歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士諸工長ヲ除ク以下本款中之ニ同シ中入隊後六箇年以上現役ニ服シ品行方正志操確實ニシテ補充検査ニ合格シタル者ヲ以テス但シ歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士ニ在テハ爾後一箇年以上現役年期ヲ有シ憲兵ニ轉科志願ノ者ニ限ル

第六十八條 憲兵分隊長ハ部下上等兵ニシテ前條ニ該當スル者ヲ選拔シ技能ノ優劣ニ由リ順序ヲ定メタル人名書及品行證明書ヲ三月三十一日迄ニ憲兵隊長ニ進達シ憲兵隊長ハ之ヲ點檢シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ各分隊ヲ通シテ順序ヲ定メ下士候補名簿ヲ製シ憲兵司令官ニ進達スヘシ

憲兵司令官ハ候補名簿ヲ審査シ之ヲ陸軍大臣ニ進達シ認可ヲ請ケ各隊ノ缺員ニ應シ下士候補者ヲ伍長ニ任ス

下士候補者ヲ以テ缺員ヲ補フハ同隊ニ於テスルヲ例トス

憲兵司令官ハ補充上ノ必要ニ應シ甲隊ノ憲兵下士ヲ乙隊ニ轉セシムルコトヲ得

第六十九條 歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士ヨリ補充ヲ要スルトキハ憲兵司令官所要ノ人員ヲ陸軍大臣ニ上申シ陸軍大臣之ヲ告達ス但シ其ノ補充ハ補充ヲ要スル憲兵隊管区内ニ於テスルヲ例トス

第七十條 前條ノ告達アルトキハ師團長之ヲ各隊長旅團長ノ下ニ在ル隊ニ達シ各隊長ニハ旅團長ヲ經テ長ハ志願者ヲ取調ヘ適當ト認ムル者ノ人名書ニ考科表寫及品行證明書ヲ添ヘ師團長旅團長ノ下ニ在ル隊ニ進達シ師團長ハ之ヲ憲兵司令官ニ送付スヘシ長ハ旅團長ヲ經テ

第七十一條 憲兵司令官前條ノ書類ヲ受領スルトキハ其ノ書類ヲ添ヘ憲兵隊長ニ達シ補充検査ヲ行ハシム其ノ検査ニ合格ノ者ハ憲兵隊長其ノ優劣ニ依リ該憲兵隊管区内ヲ通シテ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ製シ検査書類ヲ添ヘ憲兵司令官ニ進達スヘシ

憲兵司令官ハ候補名簿ヲ審査シ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケ之ヲ憲兵隊長ニ下ス憲兵隊長ハ所要ニ應シ候補名簿ノ順序ニ從ヒ其ノ階級ニ應シ憲兵下士ニ任ス



第七十二條 削除

第七十三條 憲兵下士補充檢査格例及合格規定ハ憲兵司令官之ヲ定メ師團長ニ通知スヘシ

第七十四條 削除

第二款 步、騎、砲、工、輜重兵科下士諸工長ヲ除ク

第七十五條 步、騎、砲、工、輜重兵科長期下士諸工長ヲ除クノ補充ハ各兵科下士候補生ニシテ卒業試験ニ及第シタル者ヲ以テシ短期下士ノ補充ハ上等兵ニシテ入隊ノ月ヨリ起算シ二箇年以上現役ニ服シ伍長タルノ技能ヲ備フル者警備隊ニ在テハ在營一箇年以上ニシテ現役期限満ツル迄在營ヲ以テス許サレタル者ヲ以テス

屯田歩兵科ニ在テハ上等兵ニシテ入隊ノ月ヨリ起算シ二箇年以上現役ニ服シタル者及各師團ノ豫備役、後備役下士上等兵ニシテ屯田兵ト爲リタル者ヲ以テス

第七十六條 下士候補生ハ生徒及學生ニ分ツ之ニ採用シ得ヘキ者ハ左ノ如シ  
生徒 陸海軍現役、豫備役、後備役ニ在ラサル者ニシテ召募試験ニ及第シタル者

學生 各隊兵卒現役二箇年ヲ過キタル者ヲ除ク中品行方正志操確實ニシテ再服役ヲ冀望シ下士候補生タル技能ヲ有スル者

第七十七條 下士候補生ニハ各隊ニ於テ當該兵科ノ下士ニ必要ナル學術ヲ習修セシム其ノ修學期限ハ入隊ノ月ヨリ概テ二箇年トス

第七十八條 下士候補生中生徒ハ入隊ノ後直ニ二等卒ノ階級ヲ與ヘ一箇年ノ後一等卒ノ階級ヲ經テ上等兵ノ階級ニ進ムルコトヲ得其ノ階級ヲ與ヘ若ハ階級ヲ進ムルハ隊長ニ於テスヘシ

第七十九條 下士候補生ヲ下士ニ任スルニハ聯隊長卒業試験ノ成績ニ依リ下士候補生卒業名簿ヲ製シ師團長旅團長ノ下ニ在ル聯隊長ハ旅團長ヲ經テニ進達シ認可ヲ請ケ之ヲ伍長ニ任シ各中隊ニ配賦ス

第八十條 中隊長ハ其ノ部下上等兵中短期下士ニ適當ノ者ヲ選抜シテ其ノ技能ノ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ製シ十二月一日警備隊ニ在テハ十二月一日及六月一日、屯田兵ニ在テハ四月一日迄ニ之ヲ大隊長ニ進達スヘシ



各師團ノ豫備役、後備役下士上等兵ニシテ屯田兵ト爲リタル者ハ入隊後二箇月以  
内ニ於テ中隊長前項ノ例ニ依リ下士候補名簿ヲ製シ大隊長ニ進達スヘシ

第八十一條 大隊長ハ前條下士候補者ノ技能ヲ檢閲シ意見アレハ候補名簿ニ取捨ヲ  
加ヘ之ヲ聯隊長ニ進達スヘシ

第八十一條ノ二 聯隊長ハ前條ノ下士候補名簿ヲ師團長旅團長ノ下ニ在ル聯隊長ハ旅團長ヲ經テ進達  
シ認可ヲ請ケ中隊ニ缺員アル毎ニ下士候補生ヲ伍長ニ任ス

第八十二條 下士候補者ヲ以テ下士ノ缺員ヲ補フハ當該中隊ニ於テスルヲ例トス同  
中隊ニ於テ之ヲ補フコト能ハサルトキハ聯隊長ハ同大隊中他ノ中隊ヨリ之ヲ補フ  
コトヲ得

聯隊長ハ補充上ノ必要又ハ古參ノ下士ヲ各中隊ニ平均スル爲下士ヲ甲中隊ヨリ乙  
中隊ニ轉セシムルコトヲ得

第八十三條 下士候補生ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ハ下士候補生ヲ免ス  
一 學術ノ習得全カラス卒業ノ目途ナキ者

二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三 傷痕若ハ疾病ニ由リ卒業ノ目途ナキ者

四 卒業試験ニ落第シタル者

第八十四條 前條各事項ノ一ニ當ル者アルトキハ隊長其ノ事由ヲ悉シテ師團長旅團  
下ニ在ル隊長ハニ上申シ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第八十五條 下士候補生中傷痕疾病其ノ他ノ事故ニ由リ卒業試験ヲ受クルコト能ハ  
サル者ニシテ望ミアル者ハ若干日ノ後特ニ卒業試験ヲ行フコトヲ得又卒業試験ニ  
落第スルモ尙望ミアル者ハ若干日間學術ノ補修ヲ爲サシメ卒業セシムルコトヲ得

第三款 砲兵諸工長

第八十六條 砲兵諸工長ノ補充ハ砲兵工長候補生ニシテ陸軍砲兵工科學校ヲ卒業シ  
タル者ヲ以テス

第八十七條 砲兵工長候補生ヲ諸工長ニ任スルニハ東京砲兵工廠提理其ノ人名簿ヲ  
陸軍大臣ニ進達シ認可ヲ請ケ之ヲ三等鞍工長、三等銃工長、三等木工長若ハ三等鍛



工長ニ任シ同大臣ノ告達ニ基キ各隊ニ配賦ス

第四款 蹄鐵工長

第八十八條 蹄鐵工長ノ補充ハ蹄鐵工長候補生ニシテ陸軍獸醫學校ヲ卒業シタル者ヲ以テス

第八十九條 蹄鐵工長候補生ハ生徒及學生ニ分ツ之ニ採用シ得ヘキ者ハ左ノ如シ  
生徒 陸海軍現役、豫備役、後備役ニ在ラサル者ニシテ召募試験ニ及第シタル者  
學生 騎兵、砲兵、輜重兵隊ノ蹄鐵工卒(現役第二年目ノ者ニ限ル) 中品行方正志操確實ニシテ再服役ヲ冀望シ下士候補生タル技能ヲ有スル者

第九十條 蹄鐵工長候補生ニハ騎兵、砲兵若ハ輜重兵隊ニ於テ入隊ノ月ヨリ概テ一年三箇月間軍事及蹄鐵ノ教育ヲ爲シタル後獸醫學校ニ分遣シ概テ九箇月間蹄鐵工長ニ必要ナル學術ヲ習修セシム

第九十一條 蹄鐵工長候補生中生徒ハ入隊ノ後直ニ二等卒ノ階級ヲ與ヘ一箇年ノ後一等卒ノ階級ニ進ムルヲ得其ノ階級ヲ與ヘ若ハ階級ヲ進ムルハ隊長ニ於テス

ヘシ

第九十二條 蹄鐵工長候補生ヲ蹄鐵工長ニ任スルニハ隊長獸醫學校長ヨリ移牒シタル卒業試験ノ成績ニ依リ蹄鐵工長候補生卒業名簿ヲ製シ師團長旅團長ノ下ニ在ルヲ進達シ認可ヲ請ケ之ヲ三等蹄鐵工長ニ任ス

第九十三條 蹄鐵工長候補生ニシテ左ニ掲タル事項ノ一ニ當ル者ハ蹄鐵工長候補生ヲ免ス

- 一 學術ノ習得全カラス卒業ノ目途ナキ者
- 二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 三 傷痍若ハ疾病ニ由リ卒業ノ目途ナキ者
- 四 卒業試験ニ落第シタル者

第九十四條 前條各事項ノ一ニ當ル者アルトキハ隊長其ノ事由ヲ悉シテ師團長旅團下ニ在ル隊長ハニ上申シ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第九十五條 蹄鐵工長候補生獸醫學校分遣中第九十三條各事項ノ一ニ當ル者アルト



キハ獸醫學校長其ノ事由ヲ悉シテ本人所屬隊長ニ移牒シ所屬隊長ハ前條ノ例ニ依  
リ之ヲ處分ス

第五款 衛生部下士

第九十六條 衛生部下士ノ補充ハ看護手ニシテ入隊ノ月ヨリ起算シ二箇年以上現役  
ニ服シ再服役ヲ許サレタル者 警備隊ニ在テハ在營一箇年以上ニシテ現 及衛生部下  
士候補生ニシテ卒業試験ニ及第シタル者ヲ以テス

衛生部下士ノ補充ハ同師管内 近衛師團ニ在ニ於テスルヲ例トス  
テハ師團内

第九十七條 衛生部下士候補生ニ採用シ得ヘキ者ハ陸海軍現役、豫備役、後備役ニ在  
ラサル者ニシテ召募試験ニ及第シタル者トス

第九十八條 下士候補生ニハ歩兵隊ニ於テ入隊ノ月ヨリ概テ六箇月間軍事教育ヲ爲  
シタル後衛戍病院ニ於テ概テ一年六箇月間衛生部下士ニ必要ナル學術ヲ習修セシ  
ム

第九十九條 下士候補生ハ入隊ノ後二等卒ノ階級ヲ與ヘ一箇年ノ後一等卒ノ階級ヲ

經テ上等兵ノ階級ニ進ムルコトヲ得其ノ階級ヲ與ヘ若ハ階級ヲ進ムルハ隊長ニ於  
テスヘシ

第一百條 下士候補生ヲ下士ニ任スルニハ衛戍病院長卒業試験ノ成績ニ依リ順序ヲ定  
メタル下士候補生卒業名簿ヲ師團軍醫部長ニ移ス

隊附高級醫官ハ看護手中第九十六條ニ適當ノ者ヲ選抜シ其ノ技能ノ優劣ニ依リ順  
序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ製シ十二月二日 警備隊ニ在テハ十二  
月一日及六月一日迄ニ隊長ニ進達  
シ隊長ハ之ヲ師團軍醫部長ニ移ス

第一百一條 師團軍醫部長ハ前條ノ下士候補生卒業名簿及下士候補名簿ヲ審査シ必要  
ト認ムルトキハ更ニ其ノ技能ヲ査閲シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ卒業名簿及候補名簿  
ヲ陸軍省醫務局長ニ進達シ認可ヲ請ケ缺員ニ應シ看護手ト下士候補生トヲ交互ニ  
三等看護長ニ任シ各隊ニ配賦ス

第一百二條 下士候補生ニシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ハ下士候補生ヲ免ス  
一 學術ノ習得全カラス卒業ノ目途ナキ者



- 二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯シ若ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 三 傷痍若ハ疾病ニ由リ卒業ノ目途ナキ者
- 四 卒業試験ニ落第シタル者

第百三條 前條各事項ノ一ニ當ル者アルトキハ隊附高級醫官又ハ衛戍病院長ハ其ノ事由ヲ悉シテ師團軍醫部長 隊附高級醫官 隊長ヲ經テニ移シ軍醫部長ハ師團長ノ認可ヲ請ケ之ヲ處分ス

第百四條 下士候補生傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ由リ卒業試験ヲ受クルコト能ハサル者ニシテ望ミアル者ハ若干日ノ後特ニ卒業試験ヲ行フコトヲ得又卒業試験ニ落第スルモ尙望ミアル者ハ若干日間學術ノ補修ヲ爲サシメ卒業セシムルコトヲ得

第六款 軍吏部下士

第百五條 計手ノ補充ハ歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士中入隊後六箇年以上現役ニ服シ補充検査ニ合格シタル者ヲ以テス但シ爾後一箇年以上現役年期ヲ有シ計手志願ノ者ニ限ル

計手ノ補充ハ同師管内 近衛師團ニ在テハ師團内ニ於テスルヲ例トス

第百六條 各隊長ハ毎年三月部下下士中計手志願ニシテ適當ト認ムル者ノ人名書ニ考科表寫ヲ添ヘ師團監督部長ニ送付スヘシ

第百七條 補充検査ハ師團監督部長之ヲ行フ但シ監督部所在地外ニ於ケル志願者ノ検査ハ其ノ期日及要件ヲ定メ隊長ニ依託シテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第百八條 師團監督部長ハ補充検査ノ成績ヲ審査シ其ノ合格ノ者ニ検査ノ成績ニ依リ師管内 近衛師團ニ在テハ師團内ニ通シテ順序ヲ定メタル計手候補名簿ヲ製シ陸軍大臣ニ進達シ認可ヲ請ケ計手ノ缺員ニ應シ之ヲ現官等相當ノ計手ニ任ス

前項ノ候補名簿ニ登載ノ者計手ニ任用前豫備役若ハ後備役ニ入ルトキハ師團監督部長之ニ計手適任證書ヲ付與ス

第百九條 縫工長及靴工長ノ補充ハ縫、靴工長候補生ニシテ陸軍經理學校ヲ卒業シタル者ヲ以テス

第百九條ノ二 縫、靴工長候補生ヲ縫、靴工長ニ任スルニハ陸軍省經理局長其ノ人名



簿ヲ陸軍大臣ニ進達シ認可ヲ請ケ之ヲ二等縫工長若ハ三等靴工長ニ任シ同大臣ノ告達ニ基キ各隊ニ配賦ス

第七款 軍樂部下士

第一百十條 軍樂部下士ノ補充ハ樂手補ニシテ二箇年以上現役ニ服シ下士タルノ技能ヲ備フル者ヲ以テス

第一百十一條 軍樂學校長、軍樂隊長ハ其ノ部下樂手補中前條ニ該當ノ者ヲ選拔シ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル下士候補名簿ヲ製シ學校長ハ戸山學校長ニ隊長ハ師團長ニ進達ス

第五章 豫備役後備役下士ノ補充

第一款 各兵科下士

第一百十二條 師團長ハ前條ノ候補名簿ヲ點檢シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ缺員アル毎ニ之ヲ三等樂手ニ任ス

戸山學校長ハ前條ノ候補名簿ヲ點檢シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ教育總監ニ進達シ認可ヲ請ケ缺員アル毎ニ之ヲ三等樂手ニ任ス

第一百十三條 各兵科豫備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 豫備役上等兵中各兵科下士適任證書ヲ所持スル者

二 豫備役兵卒中蹄鐵工長適任證書ヲ所持スル者

三 各兵科下士中服役七年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入りタル者

第一百十四條 各隊長ハ戰時補充ニ要スル豫備役下士ヲ養成スルノ責任ヲ有ス故ニ毎年若干名ノ上等兵ニ下士適任證書ヲ付與シテ除隊スルモノトス

騎兵、野戰砲兵、輜重兵ニ在テハ各聯隊若クハ大隊毎ニ蹄鐵工卒タリシ兵卒若干名ニ蹄鐵工長適任證書ヲ付與シテ除隊スルモノトス

第一百十五條 各兵科後備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 後備役上等兵中各兵科下士適任證書ヲ所持スル者

二 後備役兵卒中蹄鐵工長適任證書ヲ所持スル者

三 豫備役各兵科下士ヨリ後備役ニ入りタル者

四 各兵科下士中服役七年四箇月以上十二年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ後備役ニ入りタル者



第一百十六條 第一百十三條第一第二及第一百十五條第一乃至第四ニ該ル者ヲ下士ニ任スルニハ戰時若クハ時變ニ際シ下士ノ缺員ニ應シ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ケ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官之ヲ伍長、三等蹄鐵工長ニ任ス但平時ト雖モ勤務演習ニ於テ實地ノ技能ヲ查閱シ之ニ任スルコトアルヘシ

第二款 衛生部下士

第一百十七條 衛生部豫備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 豫備役看護手及上等兵中衛生部下士適任證書ヲ所持スル者

二 衛生部下士中服役七箇年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入りタル者

第一百十八條 師團軍醫部長ハ戰時補充ニ要スル衛生部ノ豫備役下士ヲ養成スルノ責任ヲ有ス故ニ毎年若干名ノ看護手ニ衛生部下士適任證書ヲ付與シテ除隊スルモノトス

第一百十九條 衛生部後備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 後備役看護手及上等兵中衛生部下士適任證書ヲ所持スル者

二 豫備役衛生部下士ヨリ後備役ニ入りタル者

三 衛生部下士中服役七箇年四箇月以上十二箇年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ後備役ニ入りタル者

第一百二十條 第一百十七條第一及第一百十九條第一ノ看護手及上等兵ヲ下士ニ任スルニハ戰時若クハ時變ニ際シ下士ノ缺員ニ應シ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ケ師團軍醫部長若クハ之ト同等以上ノ權アル軍醫部長之ヲ三等看護長ニ任ス但シ平時ト雖モ勤務演習ニ於テ實地ノ技能ヲ查閱シ之ニ任スルコトアルヘシ

第三款 軍吏部下士

第一百二十一條 軍吏部豫備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

一 各兵科豫備役下士中計手適任證書ヲ所持スル者

二 軍吏部下士中服役七箇年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ豫備役ニ入りタル者



第二百二十二條 軍吏部後備役下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

- 一 各兵科後備役下士中計手適任證書ヲ所持スル者
- 二 豫備役軍吏部下士ヨリ後備役ニ入リタル者
- 三 軍吏部下士中服役七箇年四箇月以上十二箇年四箇月ニ滿タスシテ現役ヲ退キ後備役ニ入リタル者

第二百二十三條 第二百一十一條第一及第二百二十二條第一ノ下士ヲ計手ニ任スルニハ戰時若クハ事變ニ際シ下士ノ缺員ニ應シ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ケ師團監督部長若クハ之ト同等以上ノ權アル監督部長之ヲ現官等相當ノ計手ニ任ス但シ平時ト雖モ勤務演習ニ於テ實地ノ技能ヲ查閱シ之ニ任スルコトアルヘシ

第六章 現役上等兵ノ補充

第一款 憲兵科上等兵

第二百二十四條 憲兵上等兵ノ補充ハ步、騎、砲、工、輜重兵隊兵卒中憲兵志願ニシテ左

ノ二項ニ該當スル者ヲ以テス

- 一 二箇年以上現役ニ服シ年齡滿二十二年以上ノ者
- 二 品行方正志操確實ニシテ三箇月以上憲兵上等兵ノ勤務ニ必要ノ學術ヲ習修シ補充検査ニ合格シタル者

第二百二十五條 各聯隊長ハ毎年志願者若干名ヲ選抜シ技能ノ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル人名書ニ品行證明書ヲ添ヘ師團長旅團長ノ下ニ在ル聯隊長ハ旅團長ヲ經テニ進達シ師團長ハ之ヲ憲兵司令官ニ送付スヘシ

第二百二十六條 憲兵司令官前條ノ書類ヲ受領シタルトキハ憲兵隊ニ於テ憲兵ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ習修セシムヘキ人員ヲ定メ其ノ人名ヲ師團長ニ通知シ同時ニ各憲兵隊長ニ達スヘシ

第二百二十七條 第二百二十四條ノ學術ノ習修及補充検査ハ各憲兵隊管區毎ニ當隊憲兵隊本部ニ於テ之ヲ行フ

憲兵隊長ハ學術習修ノ爲各聯隊長ニ協議シ本人ヲ憲兵隊本部ニ通學セシム但シ憲



兵隊本部所在地外ノ者ハ同本部所在地ノ各隊ニ分遣シ通學セシム

學術習修中傷疾疾病、犯罪、品行不正又ハ學力不充分ニシテ憲兵上等兵ト爲スヘカラサル者アルトキハ憲兵隊長ハ其ノ通學ヲ停止シ本人所屬隊長ニ通知スヘシ

第二百二十八條 前條ノ學術習修ニ就テハ憲兵隊長其ノ責ニ任ス

第二百二十九條 學術ノ習修終レハ憲兵隊長ハ補充検査ヲ行ヒ合格者ニ就キ検査ノ成績ニ依リ順序ヲ定メタル憲兵上等兵候補名簿ヲ製シ之ヲ憲兵司令官ニ進達スヘシ

憲兵司令官ハ候補名簿ヲ審査シ各憲兵隊毎ニ憲兵上等兵候補名簿ヲ決定シ憲兵隊長ニ下ス憲兵隊長ハ缺員アル毎ニ憲兵上等兵ヲ命ス

候補名簿決定ノ後歸休ヲ命シ又ハ豫備役編入ノ者ニ在テハ憲兵隊長ヨリ聯隊區司令官ニ照會シ該司令部ニ於テ體格検査ヲ行ヒ合格ノ者ニ限り憲兵上等兵ヲ命スルコトヲ得

憲兵司令官ハ必要ニ應シ甲隊ノ憲兵上等兵候補者ヲ以テ乙隊ノ補充ニ充ツルコトヲ得其任命ノ手續ハ本條第二項第三項ノ例ニ依ル又甲隊ノ憲兵上等兵ヲ乙隊ニ轉

セシムルコトヲ得

第三十條 補充検査ヲ受ケタル兵卒ハ通學ヲ停止シ候補名簿決定ノ上其ノ人名ヲ憲兵司令官ヨリ師團長ヲ經由シテ各聯隊長ニ通知シ各聯隊長ハ憲兵上等兵候補者タルコトヲ本人ニ達スヘシ

第三十一條 前條候補者ニシテ憲兵上等兵ヲ命セラレサル以前歸休ヲ命シ又ハ豫備役編入ノトキハ聯隊長ヨリ其ノ由ヲ憲兵隊長及聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三十二條 候補名簿ハ決定ノ日ヨリ次年候補名簿決定ノ日迄之ヲ用ウルモノトス

第三十三條 補充検査格例及合格規程ハ憲兵司令官之ヲ定ム

第二款 步、騎、砲、工、輜重兵科上等兵

第三十四條 步、騎、砲、工、輜重兵上等兵ノ補充ハ兵卒中一箇年警備隊ニ在テハ六箇月以上現役ニ服シ品行方正ニシテ左ノ二項ニ該當スル者ヲ以テス

一 上等兵ノ職務ニ適スル學術及能力アル者



二 諸技藝凡ソ兵卒ノ上位ヲ占ムル者

第三百二十五條 屯田歩兵ノ上等兵ハ前條ノ外各師團ノ豫備役後備役下士上等兵ニシテ屯田兵トナリタル者ヨリ直ニ補充スルコトヲ得

一箇年以上現役ニ服シタル豫備役後備役兵卒ニシテ屯田兵ト爲リ前條ノ資格ヲ備フル者亦同シ

第三百二十六條 上等兵ヲ選舉スルニハ中隊長其ノ部下兵卒中第三百二十四條ニ該當ノ者ヲ選ヒ優劣ニ依リ順序ヲ定メ其ノ人名書ヲ大隊長ニ進達ス

第三百二十七條 大隊長ハ更ニ各中隊ノ候補者ヲ檢閲シ意見アレハ取捨ヲ加ヘ其ノ人名書ヲ聯隊長ニ進達ス

第三百二十八條 聯隊長ハ中隊ニ缺員アル毎ニ候補者ニ上等兵ヲ命ス

第三百二十九條 上等兵ノ缺員ハ同中隊ノ候補者ヲ以テ補フモノトス

各中隊長ハ其中隊ニ於テ所要ノ上等兵ヲ養成スルヲ以テ責任トス

第三百四十條 上等兵ハ毎年各中隊ニ於テ凡ソ其ノ定員ノ半數宛補充スルヲ例トス

第七章 現役看護手ノ補充

第三百四十一條 現役看護手ノ補充ハ歩、騎、砲、工、輜重兵ノ初年兵ニシテ概テ六箇月間軍事教育ヲ受ケ更ニ六箇月間看護學ヲ修メタル者ヲ以テス

警備隊ニ在テハ軍事教育及看護學修業期限ハ各三箇月間トス

第三百四十二條 前條ノ補充ハ師團軍醫部長豫メ各隊所要ノ看護手人員ヲ調査シテ師團長ニ進達シ師團長ハ之ヲ各隊ニ配賦シ各隊長ハ之ヲ各中隊ニ配賦スヘシ

第三百四十三條 前條ノ配賦ヲ受ケタル中隊長ハ部下兵卒中篤實温厚ニシテ看護手ニ適當ノ者ヲ選ヒ其ノ名簿ヲ製シ順序ヲ經テ聯隊長ニ進達スヘシ

第三百四十四條 聯隊長ハ前條ノ名簿ニ依リ看護學修業兵ヲ命シ其ノ他ノ衛戍病院ニ入學或ハ通學セシムヘシ

第三百四十五條 看護學修業兵卒業シタルトキハ看護學修業兵名簿ニ登載シ缺員アル毎ニ聯隊長之ニ看護手ヲ命ス

第八章 現役樂手補ノ補充



第一百四十六條 現役樂手補ノ補充ハ軍樂學校生徒ノ卒業シタル者ヲ以テス  
第一百四十七條 軍樂學校長ハ前條卒業者ノ優劣ニ依リ順序ヲ定メタル人名簿ヲ戸山  
學校長ニ進達スヘシ

第一百四十八條 軍樂學校卒業者ニ樂手補ヲ命スルニハ戸山學校長前條ノ人名簿ヲ教  
育總監ニ進達シ認可ヲ請ケ之ニ樂手補ヲ命シ陸軍大臣ノ告達ニ基キ軍樂學校及軍  
樂隊ニ配賦ス

第一百四十九條 削除

第一百五十條 樂手補ハ必要ニ應シ其ノ所屬ヲ轉換スルコトヲ得

第九章 特別補充

第一百五十一條 戰時若クハ事變ニ際シ士官及下士ノ缺員アルトキハ本條例各章ニ依  
ルノ外尚ホ本章ニ依リ補充スルコトヲ得

第一百五十二條 士官ハ左ニ掲クル者ノ中ヨリ補充スルコトヲ得但シ補充ヲ爲スヘキ  
時期及區分ハ陸軍大臣ノ指定ニ依ル

一 現役見習士官、現役見習醫官、現役見習藥劑官、現役見習獸醫官、現役見習軍吏  
及修業概于一ケ年ヲ過キタル軍吏學生

二 豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官、豫備  
役見習軍吏

三 後備役見習士官、後備役見習醫官、後備役見習藥劑官

四 現役豫備役後備役特務曹長ニシテ曹長ニ任セラレタル日ヨリ二箇年六箇月ヲ  
過キタル者

監督學生ニシテ修業概于一箇年ヲ過キタル者ヲ以テ監督補ニ任スルコトヲ得  
其ノ時期ハ陸軍大臣ノ指定ニ依ル

第一百五十三條 動員ヲ行ヒタル師團ハ必要ニ應シ左ニ掲クル者ヲシテ士官ノ勤務ニ  
服セシムルコトヲ得

一 現役見習士官、現役見習醫官、現役見習藥劑官、現役見習獸醫官、現役見習軍吏  
及修業概于一ケ年ヲ過キタル軍吏學生



- 二 豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官、豫備役見習軍吏
  - 三 後備役見習士官、後備役見習醫官、後備役見習藥劑官  
監督學生ニシテ修業概子一箇年ヲ過キタル者ヲ以テ監督補ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得
- 第五百十三條ノ二 軍醫學校生徒ニシテ修業概子三箇月ヲ過キタル者ハ必要ニ應シ現役見習醫官、現役見習藥劑官ト爲スコトヲ得
- 第五百十四條 動員ヲ行ヒタル師團ハ必要ニ應シ左ニ掲クル者ヲ豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官、豫備役見習軍吏ト爲シ士官ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得但シ第五第六ニ該ル者ノ採用方法及時期ハ陸軍大臣ノ指定ニ依ル
- 一 一年志願兵終末試験及第證書ヲ所持スル者
  - 二 各兵科士官適任證書ヲ所持スル豫備役准士官下士

- 三 衛生部士官適任證書ヲ所持スル豫備役下士
  - 四 軍醫生、藥劑生、軍醫生タル一年志願兵
  - 五 醫術開業免狀藥劑師免狀ヲ所持スル者又ハ醫師免許規則第三條第四條藥品營業並ニ藥品取扱規則第四十六條ニ依リ試験ヲ要セシテ免狀ヲ得ヘキ資格アル者
  - 六 獸醫免許規則第二條第二項第三項若クハ第四項ニ該ル者
- 第五百十五條 動員ヲ行ヒタル師團ハ必要ニ應シ左ニ掲クル者ヲ以テ後備役見習士官、後備役見習醫官、後備役見習藥劑官ト爲シ士官ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得
- 一 各兵科士官適任證書ヲ所持スル後備役准士官下士
  - 二 衛生部士官適任證書ヲ所持スル後備役下士
- 第五百十六條 動員ヲ行ヒタル部隊ハ必要ニ應シ左ニ掲クル者ノ中ヨリ下士ノ補充ヲ爲スコトヲ得
- 一 入隊後四箇月ヲ經過シタル一年志願兵



- 二 現役豫備役後備役上等兵及上等兵ノ階級ニ在ル下士候補生
  - 三 現役豫備役後備役看護手
  - 四 獸醫學校ニ於テ修業概テ六箇月ヲ過キタル蹄鐵工長候補生
- 第百五十七條 計手ノ補充ハ必要ニ應シ計手志願ノ下士ニシテ隊附軍吏ニ附屬セシメ技能ヲ試ミタル者ヲ以テスルコトヲ得
- 砲兵諸工長ノ補充ハ必要ニ應シ砲兵工長候補生ニシテ修業概テ一年四ヶ月ヲ過キタル者ヲ以テスルコトヲ得
- 第百五十八條 第百五十二條ニ該ル者ノ任官ハ陸軍大臣奏宣薦行ス
- 戰地ニ在テハ特ニ進級補除ノ權ヲ委任セラレタル首將之ヲ專行スルコトヲ得
- 第百五十九條 第百五十五條ニ該ル者ノ身分取扱ハ豫備役見習士官、豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官ニ同シ
- 第百六十條 第百五十六條及第百五十七條第一項ニ該ル者ノ任官ハ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ケ聯隊長、師團監督部長、師團軍醫部長若クハ

- 之ト同等以上ノ權アル部隊長之ヲ行フ但屯田騎兵、砲兵、工兵隊ニ在テハ第七師團長自ラ之ヲ行フ
- 師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ時宜ニ依リ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル部隊長ニ直ニ任官ノ權ヲ委任スルコトヲ得
- 前二項ノ場合ニ於テハ本條例第四章ニ規定スル下士候補名簿ノ順序ニ拘ハラズ任官スルコトヲ得
- 第百五十三條ノ二及第百三十七條第二項ニ當ル者ハ陸軍大臣必要ニ應シ陸軍省醫務局長若ハ東京砲兵工廠提理ヲシテ現役見習醫官、現役見習藥劑官ヲ命セシメ若ハ砲兵諸工長ニ任セシメ各師團ニ配賦スルコトヲ得
- 第百六十一條 第百五十三條第二第三第百五十四條及第百五十五條ニ該ル者ハ現役ヲ離ルルトキ若クハ復員ノ際之ヲ士官ニ任スルコトヲ得其ノ士官ニ任セサル者ハ曹長、同相當官ニ任ス但シ第百五十四條第五第六ニ該ル者ニシテ士官ニ任セラレサルトキハ豫備役見習醫官、豫備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官ヲ免ス



前項ニ依リ士官ト爲スニハ各兵科ニ在テハ將校會議、衛生部ニ在テハ衛生部士官選舉會議ニ於テ可決シタル者獸醫部及軍吏部ニ在テハ所屬長官及同部士官ノ保證ヲ爲スモノニ限ル

第六十二條 大本營ニ軍事内局ヲ置キ將校同相當官ノ人事ヲ取扱フトキハ其ノ取扱ニ係ルモノニ付テハ第五百二十二條但書及第五百五十八條第一項ヲ適用セス

第六十三條 現役豫備役後備役特務曹長ハ曹長ニシテ軍曹ニ任セラレタル日ヨリ一箇年六箇月ヲ過キタル者ノ中ヨリ補充スルコトヲ得

第十章 雜則

第六十四條 士官候補生、現役見習醫官、現役見習藥劑官、現役見習獸醫官及現役見習軍吏ハ志願兵トシテ入隊ノ日ヨリ兵籍ニ編入ス

第六十五條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官及見習軍吏ハ軍隊ニ在テハ屯營内ニ學校ニ在テハ校内ニ居住セシム但シ其ノ居室ハ一般下士兵卒ト混同スルコトナシ

第六十六條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官及見習軍吏ハ各階級ニ於テハ本官等下士兵卒ノ上位トス

第六十七條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官及見習軍吏ハ室内其ノ他諸物品ノ掃除及馬具馬匹等ノ掃除ノ爲ニハ兵卒ヲ使役スルコトヲ得但シ士官候補生ハ馬具馬匹等ノ掃除ヲ習得スル爲ニハ自ラ之ヲ爲スモノトス

第六十八條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、見習軍吏各兵科下士候補生、砲兵工長候補生、蹄鐵工長候補生、衛生部下士候補生及縫、靴工長候補生ハ情願ヲ以テ之ヲ免セサルモノトス

第六十九條 臺灣守備隊及基隆澎湖島要塞砲兵隊下士兵卒ヨリ憲兵下士上等兵ヲ補充スルトキ之ニ要スル手續ハ本條例第四章第一款第六章第一款ヲ準用ス

第七十條 將校會議又ハ衛生部士官選舉會議ニ於テ可決シタル者若クハ各部士官ニ任スヘキ資格アリト認メタル者ハ任官ニ至ル迄部隊ニ在テ士官ノ勤務ニ服セシム



第七十一條 下士候補名簿ハ認可決定ノ日ヨリ次年ノ候補名簿決定ノ日迄之ヲ用  
ウルモノトス

下士補充上ノ必要アルトキハ下士候補名簿ニ追加スルコトヲ得其ノ取扱ハ各本條  
ノ例ニ準ス

第七十二條 削除

第七十三條 下士若クハ上等兵候補名簿ニ登載シタル者及下士上等兵候補者ニシ  
テ任用前候補者タラシムヘカラサル事由ヲ生スルトキ又ハ所屬ヲ轉換スルトキ若  
クハ身上異動ヲ生スルトキハ本人所屬長官ヨリ其ノ由ヲ關係アル部隊ノ長官ニ通  
知又ハ上申スヘシ

附則

第七十四條 輜重兵科現役士官ノ補充ハ輜重兵科士官候補生ヲ以テ補充シ得サル  
間ハ他兵科ノ現役士官ヲ轉科セシメ補充スルコトヲ得

第七十五條 准士官下士兵卒一年志願兵ニ及陸軍諸生徒ハ當分ノ内士官候補生ヲ  
アラサル者

志願スルコトヲ得

准士官下士兵卒ヨリ採用スル者ハ士官候補生トシテ入隊ノ日ヲ以テ本官若ハ服役  
ヲ免シ諸生徒ヨリ採用スル者ハ之ヲ命スルノ日直ニ退學セシム

第七十六條 當分ノ内本條例第七條第二第三ニ該ル者ニシテ入隊スヘキ隊長ノ承  
認ヲ得サル者ト雖採用スルコトヲ得

前項並ニ前條ニ依リ採用シタル者ハ本條例第十二條ノ例ニ依リ各兵隊ニ配賦ス

第七十七條 豫備役後備役將校、同相當官ノ補充ハ當分ノ内豫備役後備役准士官  
下士中士官適任證書ヲ所持スル者ヨリ補充スルコトヲ得

士官適任證書ヲ所持スル者ヲ豫備役後備役ノ士官ト爲スニハ第五十八條第一ニ該  
ル者ノ例ヲ準用ス

第七十八條 看護手ヲ以テ下士ヲ補充スルハ各本條ノ規定ニ依ルノ外當分ノ内再  
服役志願ニアラサル者ヲ以テスルコトヲ得

第七十九條 當分ノ内戰時若ハ事變ニ際シ豫備役、後備役砲兵上等兵中砲兵工科



學校卒業證書ヲ所持スル者ヲ以テ必要ニ應シ伍長ニ任スルコトヲ得其ノ取扱手續ハ第百十六條ニ依ル

第百七十九條ノ二 當分ノ内戰時若ハ事變ニ際シ豫備役、後備役兵卒中陸軍獸醫學校卒業證書ヲ所持スル者ヲ以テ必要ニ應シ三等蹄鐵工長ニ任スルコトヲ得其ノ取扱手續ハ第百十六條ニ依ル

第百七十九條ノ三 當分ノ内戰時若ハ事變ニ際シ豫備役、後備役上等兵中軍吏部下士適任證書ヲ所持スル者ヲ以テ必要ニ應シ計手ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得前項ニ依リ六箇月以上計手ノ勤務ニ服シタル上等兵ハ必要ニ應シ師團長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ケ師團監督部長若ハ之ト同等以上ノ權アル監督部長之ヲ二等計手ニ任スルコトヲ得

第百七十九條ノ四 當分ノ内戰時若ハ事變ニ際シ豫備役、後備役兵卒中陸軍經理學校卒業證書ヲ所持スル者ヲ以テ必要ニ應シ三等縫工長若ハ三等靴工長ニ任スルコトヲ得其ノ取扱手續ハ前條第二項ノ例ニ準ス

第百八十條 削除

第百八十一條 見習醫官、見習藥劑官ハ當分ノ内依託學生ニアラスシテ帝國大學醫科大學ノ課程ヲ卒ヘタル者又ハ外國ニ留學シ之ト同等以上ノ學力アル者又ハ一年志願兵中軍醫生、藥劑生ニシテ醫術開業免狀若ハ藥劑師免狀ヲ所持シ衛生部現役士官志願ノ者ヨリ採用スルコトヲ得但シ一年志願兵ヨリ採用ノ者ハ之ヲ命シタル日ヲ以テ其ノ服役ヲ免ス

見習獸醫官ハ當分ノ内依託學生、依託生徒ニアラスシテ帝國大學農科大學獸醫學科又ハ同大學獸醫學實科ノ課程ヲ卒ヘタル者ヨリ採用スルコトヲ得前項ニ依リ採用シタル者ノ内醫科大學ノ課程ヲ卒ヘタル者及外國ニ留學シ之ト同等以上ノ學力アル者ハ陸軍二等軍醫、陸軍二等藥劑官ニ其ノ他ハ陸軍三等軍醫、陸軍三等藥劑官ニ任ス其ノ手續ハ第三十七條第一項ノ例ニ依ル

第百八十二條 明治三十二年十二月一日前ニ於テ再服役ヲ許サレタル歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ上等兵ハ當該兵科ノ伍長ニ任スルコトヲ得



附則

本令ハ明治三十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍省令第三號 (明治二十五年三月十八日)

徵兵検査規則

第一條 徵兵検査ハ徵兵令ニ據リ兵役ニ服スヘキモノノ體格ヲ検査シ其適否ヲ定ムルモノトス

此検査ハ學術上諸種ノ方法ヲ施スコトヲ得

第二條 左ノ疾病畸形ノ者ハ不合格トス

- 一 惡性腫瘍
- 二 骨軟化 佝僂病
- 三 象皮腫 癩
- 四 動脈瘤
- 五 癩癧
- 六 白痴
- 七 癲狂
- 八 夜盲
- 九 盲



- 十 耳殼若クハ鼻ノ全缺スルモノ
  - 十一 聾
  - 十二 啞
  - 十三 唇、齒牙、口内ノ疾病ニシテ官能ニ大ナル妨アルモノ
  - 十四 食道狹窄
  - 十五 脊梁、骨盤ノ畸形ニシテ運動ニ大ナル妨アルモノ
  - 十六 歇兒尼亞
  - 十七 關節畸形
  - 十八 習癖脱臼
  - 十九 支肢ノ短縮、彎曲
  - 二十 指節ノ強剛ニシテ把握ニ大ナル妨アルモノ
  - 二十一 拇指若クハ示指若クハ二指以上ヲ失シタルモノ
  - 二十二 躄足
  - 二十三 第一趾ヲ失シタルモノ若クハ三趾以上ヲ失シタルモノ
- 前項ノ疾病畸形中輕症ニシテ服役シ得ヘキ者ハ合格トシ爾餘ノ疾病畸

形ト雖モ服役シ得ヘカラサル者ハ不合格トス

第三條 徴兵體格ノ等位ヲ區別スル左ノ如シ

- 一 甲種 身長五尺以上ニシテ身體強健ナルモノ
  - 二 乙種 身長五尺以上ニシテ身體甲種ニ亞クモノ
  - 三 丙種 身長五尺以上ニシテ身體乙種ニ亞クモノ及身長五尺未滿四尺八寸以上ニシテ丁種戊種ニ當ラサルモノ
  - 四 丁種 第二條ニ當ルモノ及身長四尺八寸ニ滿タサルモノ
  - 五 戊種 徴兵令第十八條第一項ニ當ルモノ
- 第四條 第三條ノ甲種乙種丙種ヲ合格トス其甲種乙種ハ現役ニ徵スヘキモノ丙種ハ國民兵役ニ置クモノトシ丁種ヲ不合格戊種ヲ徵集延期トス



●内務省令第三十二號（明治三十年十月二十五日）

徵兵旅費規則

第一條 徵兵旅費ハ檢査入營ノ二種ニ分チ之ヲ支給ス

一 檢査旅費ハ檢丁及呼出ニ係ル檢丁ノ父兄癡疾不具等ノ者ニ同伴シタル保護人抽籤人等居住地ヨリ檢査所又ハ抽籤所ニ往返ノ旅費トス

一 入營旅費ハ新兵居住地ヨリ營所ニ至ルノ旅費トス

第二條 檢査旅費ハ左ノ規定ニ依ル

一 片道三里已上ノ旅行ヨリ里數ニ應シ陸路雜費一里ニ付金參錢ヲ支給ス但一里未滿ノ端數ハ切捨トス

二 官ノ都合ニ依リ特ニ滞在ヲ命シタルトキハ日數ニ應シ滞在日當金貳拾五錢ヲ支給ス

三 川留雪支等ニテ旅行途中ニ滞在中ニ滞在中ニ付キハ其地市區町村長戸長及之ニ準スヘキ者ノ證明書ヲ添ヘ請求スルトキハ滞在日當金貳拾五錢ヲ支給スルコトヲ得

四 片道三里已上ノ旅行ニシテ渡航ニアラサレハ至リ難キ場所若クハ地勢上渡航又ハ汽車乗用ヲ便トスルトキハ第一號ノ陸路雜費ヲ給セス渡航賃汽車賃ノ下



等實費ヲ支給ス

- 五 第四號ノ場合ニ於テハ尙夜數ニ應シ宿泊料金貳拾錢ヲ給ス其ノ徒步旅行ト跨ル日ハ其ノ徒步旅行ニ對シテハ第一號ノ陸路雜費ヲ支給ス
  - 六 渡航賃及汽車賃ノ實費ヲ給スル場合ニ於テハ下等賄ノ實費ヲ給スルコトヲ得
  - 七 片道三里未滿ノ旅行ト雖モ渡航ニ在ラサレハ至リ難キ場所ハ渡航賃ノ下等實費ヲ支給スルコトヲ得
  - 八 片道三里未滿ノ旅行ト雖モ官ノ都合ニ依リ特ニ宿泊ヲ命シタルトキハ夜數ニ應シ宿泊料金貳拾錢ヲ支給ス
- 第三條 檢丁若クハ呼出ニ係ル檢丁ノ父兄廢疾不具等ニシテ歩行シ能ハサルトキハ第二條第一號陸路雜費ノ外尙ホ片道一里以上ヨリ里數ニ應シ金七錢ノ車馬賃ヲ支給ス但一里未滿ノ端數ハ切捨トス
- 第四條 入營旅費ハ左ノ規定ニ依ル
- 一 片道三里以上ノ旅行ヨリ里數ニ應シ陸路雜費一里ニ付金五錢ヲ支給ス但一里未滿ノ端數ハ切捨トス
  - 二 第二條ノ第二號乃至第八號ハ入營旅費ニ適用シ滞在日當ハ金參拾錢宿泊料ハ

金貳拾五錢トス

- 三 新兵入營ノ旅行ハ一日十二里詰トシ若シ集合上ノ都合等ニ依リ其見積リ行程ヨリ延著セシメタルトキハ増日數ニ應シ滞在日當ノ額ヲ支給ス
- 四 新兵入營旅行中疾病ニ罹リ歩行シ能ハスシテ車馬等ヲ要シ又ハ滞在シタルトキハ附添吏員ノ證明書及醫師ノ診斷書ヲ添へ請求スルトキハ車馬賃等ノ實費又ハ滞在日當ヲ支給スルコトヲ得



三十年九月  
勅令第三百三十三號  
參看

●内務省令第三十號 (明治三十年十月二十二日)

徵兵參事員手當並ニ旅費支給規則

- 一手當金ハ府縣郡市島嶼ヲ問ハス執務セシ日ニ限リ一日金壹圓ヲ支給ス
- 一旅費ハ明治三十年勅令第三百三十三號ノ規程ニ依リ四等旅費ヲ支給ス

旅費額	
等 級	汽車賃 <small>一哩ニ付</small> 船賃 <small>一海里ニ付</small> 車馬賃 <small>一里ニ付</small> 宿泊料 <small>一夜ニ付</small> 日 當 <small>一日ニ付</small> 食卓料 <small>一日ニ付</small>
四等 判任官	三 錢 四 錢 十五 錢 一 圓 五十 錢 九十 錢

徵兵參事員手當金并ニ旅費支給規則

リ一終



●法律第四十五號 (明治二十三年六月二十日)

軍人恩給法

第一章 總則

第一條 陸海軍軍人ニシテ現役ヲ離レタル者ハ此法律ノ規定スル所ニ依リ恩給ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條 陸海軍軍人恩給ハ左ノ六種トス

- 一 退職恩給
- 二 免除恩給
- 三 增加恩給
- 四 賑恤金
- 五 給助金
- 六 扶助料

第三條 退職恩給、免除恩給、增加恩給及寡婦ノ扶助料ハ終身、孤兒ノ扶助料ハ年齢二十歳ニ至ルマテ賑恤金、給助金ハ一時限リ之ヲ給ス

第二章 退職恩給、免除恩給、增加恩給



第四條 退職恩給ハ准士官以上左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキ之ヲ給ス

一 現役十一年以上ニシテ定限ノ年齢ニ達シ又ハ定限ノ年齢ニ達セサルモ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ服役ニ堪ヘス退職シタルトキ

二 戦闘及戰時平時ニ拘ハラヌ公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ退職シタルトキ

三 戰地ニ於テ流行病ニ罹リ又ハ戰時平時ニ拘ハラヌ公務ノ爲メ健康ニ有害ナル感動ヲ受クルヲ顧ミルコト能ハスシテ勤務ニ従事シ爲メニ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ退職シタルトキ

四 現役十一年以上ニシテ未タ定限ノ年齢ニ達セスト雖モ休職、停職満期若クハ諭旨ニ依テ退職シタルトキ

第五條 免除恩給ハ下士以下左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキ之ヲ給ス

一 現役十一年以上ニシテ定限ノ年齢ニ達シ又ハ定限ノ年齢ニ達セサルモ服役満期トナリ或ハ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ服役ニ堪ヘス免官若クハ現役ヲ免除シタルトキ

二 第四條第二又ハ第三ニ由リ免官若クハ現役ヲ免除シタルトキ

第六條 退職恩給、免除恩給年額ハ軍人恩給ヲ受クヘキ事故ノ生シタルトキノ現官階ト其服役年數トニ從ヒ第一號表若クハ第二號表ニ依テ之ヲ給ス但現役四十以上ノ者ニ給スヘキ恩給ハ四十年ノ額又十一年未滿ノ者ニ給スヘキ恩給ハ十一年ノ額トス

第七條 軍人現役十一年以上ニシテ文官ニ任シタル者又ハ文官ヲ兼任スル者十五年未滿ニシテ退官退職スルトキハ軍人ノ服役年數ニ對スル恩給ヲ給ス其十五年以上ニシテ退官退職スルトキハ文武官ヲ比較シ恩給年額ノ多キ方ヲ給ス

第八條 退職恩給、免除恩給ヲ受ケタル後再ヒ現役ニ就キ滿一年以上服役シタル者退職又ハ免官若クハ現役ヲ免除シタルトキハ左ノ區別ニ依リ恩給ヲ給ス

一 再ヒ現役ヲ離ル、トキノ現官階當初恩給ヲ受ケタルトキノ官階ト同等ナラサルトキハ前役年數ニ再役年數ヲ通算シ再役ノ官階ニ對スル恩給ト既得ノ恩給トヲ比較シ其多キ方ヲ給ス

二 前後ノ官階同等ナルトキハ再役ノ年數ニ依リ恩給ヲ増加ス但前役十一年未滿ニシテ恩給ヲ受ケタル者ニ在テハ前後通算シテ十二年以上ニ至ラサレハ増加セス



- 第九條 増加恩給ハ戦闘及戦時平時ニ拘ハラズ公務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ニ退職恩給、免除恩給ノ外特ニ給スルモノトス
- 一 兩眼ヲ盲シ若クハ二肢以上ヲ亡シタルトキ
  - 二 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ
  - 三 一肢ヲ亡シ若クハ二肢ノ用ヲ失シタルトキ
  - 四 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ
  - 五 一眼ヲ盲シ若クハ一肢ノ用ヲ失ヒタルトキ
  - 六 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ
- 第十條 増加恩給ノ年額ハ軍人之ヲ受ケヘキ事故ノ生シタルトキノ現官階ニ從ヒ第三號表ニ依リ之ヲ給ス
- 第十一條 戦闘及戦時平時ニ拘ハラズ公務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケスシテ現役ヲ離レタル後重症ニ趨キタル者左ノ期限内ニ検査ヲ願出ルトキハ策定ノ上相當ノ恩給ヲ給ス
- 一 一眼ヲ盲シ若クハ一肢ノ用ヲ失フニ至リタル者若クハ之ニ準スヘキ者ハ現役ヲ離レタル日ヨリ二箇年

- 二 一肢ヲ亡シ若クハ二肢ノ用ヲ失ヒ若クハ兩眼ヲ盲シ若クハ二肢以上ヲ亡スルニ至リタル者若クハ之ニ準スヘキ者ハ現役ヲ離レタル日ヨリ三箇年
- 第十二條 傷痍疾病ニ起因シ恩給ヲ請求スル者ハ左ノ書類ニ依リ證明スヘシ
- 一 傷痍疾病ノ原因ハ現認證書又ハ之ヲ證スル公文ノ寫若クハ口供書
  - 二 傷痍疾病輕重ノ度ハ陸海軍醫官ノ證書若クハ陸海軍醫官ノ查覈ヲ經タル醫師ノ證書
- 第十三條 退職恩給、免除恩給、増加恩給ノ支給ハ現役ヲ離レタル日ノ翌日ヨリ始マリ死亡ノ月ヲ以テ終ルモノトス
- 第三章 賑恤金、給助金
- 第十四條 賑恤金ハ下士以下左ニ掲クル事項ノ一ニ當リ第九條第六ヨリ輕症ニシテ免除恩給ヲ受ケサル者ニ之ヲ給ス
- 一 戦闘及戦地公務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ若クハ第四條第三ニ原由スル疾病ニ罹リ現役ヲ離レタルトキ
  - 二 戦時平時公務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ若クハ第四條第三ニ原由スル疾病ニ罹リ現役ヲ離レタルトキ



第十五條 賑恤金ハ之ヲ受クヘキ事故ノ生シタルトキノ現官階ニ應シ前條第一ニ當ル者ハ第三號表第五項ノ一個年分ヨリ少カラス十個年分ヨリ多カラス前條第二ニ當ル者ハ同表第六項ノ一個年分ヨリ少カラス十個年分ヨリ多カラス前條第二ニ

第十六條 給助金ハ下士以上現役中死歿シ若クハ現役四年以上十一年未滿ニシテ現役ヲ離レ退職恩給、免除恩給ヲ受ケサル者ニ之ヲ給ス其額ハ第四號表ニ依ル

第四章 服役年

第十七條 服役年ノ始期終期ハ左ノ各項ニ依ル

第一 退職恩給、免除恩給ニ係ル服役年ノ始期

一 下士以上ハ初任ノ日陸軍兵卒ヨリ出身ノ下士以上ハ入營ノ日海軍卒ヨリ出身ノ下士以上ハ五等卒トナリタル日但第二十四條第六ニ當リタル者ハ其兵卒トナリタル日

二 陸軍兵卒ハ入營ノ日海軍卒ハ五等卒トナリタル日但第二十四條第七ニ當リタル者ハ其刑期滿限ノ翌日

三 北海道ニ移住ハ際定規ノ給助ヲ受ケタル屯田兵下士卒ヨリ出身ノ士官以上ハ其士官ニ任シタル日

四 陸軍軍人及海軍准士官以上ニシテ明治四年八月以前ヨリ勤仕ノ者ハ同月一日

五 海軍下士以下ニシテ明治二年五月一日以前ヨリ勤仕ノ者ハ同月一日

第二 給助金ニ係ル服役年ノ始期

一 下士以上初任ノ日

第三 服役年ノ終期

一 現役ヲ離レタルノ日

第十八條 左ニ掲クル日數ハ服役年ニ通算ス

一 前條ニ掲クル服役年ノ始期ヨリ終期ニ至ルマテノ日數

二 豫備後備ニ在ル者戰時若クハ事變ニ際シ召集シタルトキハ其召集中ノ日數

三 海軍軍人轉シテ陸軍軍人トナリタルトキハ海軍服務ノ日數陸軍軍人轉シテ

海軍軍人トナリタルトキハ陸軍服務ノ日數

四 文官ヨリ轉シテ陸海軍軍人トナリタル者ニ在テハ恩給ヲ受クヘキ最下限ノ

期ニ至ルマテハ文官服務中ノ日數四分ノ三

五 現役ノ者陸軍見習士官、海軍候補生若クハ陸海軍諸生徒トナリ再ヒ現役ニ



就キタルトキハ前後ノ日數

六 現役ヲ離レタル後再ヒ現役ニ就キタルトキハ前後ノ日數

七 陸軍見習士官、海軍候補生、陸海軍諸生徒、海軍水雷夫及北海道移住ノ際定規ノ給助ヲ受ケタル屯田兵下士卒ニシテ從軍シタルトキハ其日數

第十九條 左ニ掲クル日數ハ服役年ヨリ除算ス

一 刑期中及逃走中ノ日數

二 陸軍見習士官、海軍候補生、陸海軍諸生徒中ノ日數但從軍中ノ日數ハ此限リニアラス

三 文官奉職中ノ日數ニシテ官吏恩給法ニ依リ除算スヘキ月數

四 年齡十七歳未滿ノ日數

第五章 從軍年

第二十條 從軍年ハ現役外ノ年月ト爲シ之ヲ其服役年數ニ加算スルモノトス

第二十一條 從軍年ノ加算ハ左ノ各項ニ依ルヘシ

一 外國戰ニ當リ出征軍ニ編入セラレ内國港灣ヲ出發シタルトキハ二個年

二 内國戰ニ當リ出征軍ニ編入セラレ戰地ニ臨ミタルトキハ一個年

三 臨戰合圍地境内ニ於テ服役シタルトキハ外國ニ在テハ二個年内國ニ在テハ一個年

四 日本國外ノ鎮戍ニ在リタルトキハ一個年

五 出征事件ニ關シ功績アル者及一時ノ出兵ヲ出征軍ト見做シ從軍年ニ加算スヘキ場合ハ勅裁ニ依ル

第二十二條 海軍軍人ノ外國航海ハ從軍年ニ準シ内國港灣出發ノ日ヨリ一航海ヲ半個年ニ加算ス其航海十二個月ニ超エルトキハ更ニ半個年ヲ加算ス但第二十一條ニ當ルトキハ本條ヲ適用セス

第二十三條 從軍年ノ加算ハ十二個月間數回ノ戰役ニ從ヒ若クハ航海ヲ爲スト雖モ重複シテ之ヲ算セス但其一年以上ニ亘リ十二個月ニ餘ル所ノ分數ハ更ニ一役若クハ一航海ト爲ス

第六章 恩給ヲ受クヘキ資格及權利ノ消滅停止

第二十四條 軍人左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキハ退職恩給、免除恩給、增加恩給、賑恤金、給助金ヲ受クヘキ資格消滅ス

一 重罪ノ刑ニ處セラレタトキ



- 二 日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキ
- 三 將校及相當官准士官ニ於テハ陸海軍刑法剝官ヲ附加スル禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ普通刑法其他ノ罰則ニ依リ禁錮ノ刑ニ處セラレ官職ヲ失ヒタルトキ
- 四 將校及相當官ニ於テハ陸海軍將校分限令第二條第一項第六項ニ依リ免官トナリタルトキ
- 五 准士官以下願ニ依リ免官若クハ現役ヲ免除シタルトキ
- 六 陸海軍下士陸軍上等兵看護手樂手補ニ於テハ陸海軍刑法普通刑法其他ノ罰則ニ依リ禁錮ノ刑ニ處セラレ官職ヲ失ヒ若クハ陸軍懲罰令若クハ憲兵條例第三十五條ニ依リ官職ヲ免セラレタルトキ
- 七 諸卒ニ於テハ普通刑法其他ノ罰則ニ依リ禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ陸海軍刑法ニ依リ將校ニ對シテ剝官ヲ附加スヘキ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 第二十五條 退職恩給、免除恩給、増加恩給ヲ受クル者重罪ノ刑ニ處セラレ若クハ日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ恩給ヲ剝奪ス  
左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキハ其間之ヲ停止ス

- 一 再ヒ現役ニ就キ若クハ文官判任以上ニ任シ政府ヨリ俸給ヲ受クルトキ但商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ官職ニ在ルトキハ此限ニアラス
  - 二 公權ヲ停止セラレタルトキ増加恩給ハ公權ヲ停止セラレタル場合ニアラザレハ停止セサルモノトス
  - 第二十六條 恩給ハ之ヲ受クヘキ事由ノ生シタル後三箇年内ニ請求セザレハ其權利ヲ拋棄シタルモノトス
- 第七章 扶助料
- 第二十七條 軍人左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキハ其寡婦ハ扶助料ヲ受クルノ權利アルモノトス
  - 一 第四條第二第三ニ當リ死歿シタルトキ
  - 二 第四條第一第四第五條第一ニ當リ恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受クヘキ權利ヲ有シテ死歿シタルトキ
  - 第二十八條 寡婦扶助料ノ年額ハ當該軍人ト官階ト死歿ノ因由トニ依リ前條第一ニ當ルトキハ第五號表ニ依リ第二ニ當ルトキハ第六號表ニ依テ之ヲ給ス
  - 第二十九條 扶助料ヲ受クル者左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキハ其權利消滅ス



- 一 重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 二 日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキ
- 三 扶助料ヲ受クヘキ權利ノ生シタル日ヨリ三箇年内ニ請求セサルトキ
- 四 死歿若クハ戸籍ヲ去リ若クハ婚嫁シタルトキ

第三十條 扶助料ヲ受クル者公權ヲ停止セラレタルトキハ其間扶助料ヲ停止ス

第三十一條 寡婦ナキトキ又ハ扶助料ヲ受クル寡婦死歿シ若クハ權利消滅シタルトキハ其扶助料ヲ孤兒ニ給ス

扶助料ヲ受クル者公權停止中ハ其轉給ヲ受クヘキ者ニ之ヲ給ス

第三十二條 孤兒扶助料ハ數子アルトキハ家名繼襲者ニ給シ非戸主軍人ノ孤兒ニ在テハ長子ニ給ス其繼襲者及長子死歿シ若クハ權利消滅シ若クハ支給期限ノ滿ツルトキハ順次年少者ニ及フモノトス但家名繼襲者ヲ除クノ外男子ヲ先ニシ女子ヲ後ニス

第三十三條 扶助料ヲ受クヘキ寡婦及孤兒ナク若クハ扶助料ヲ受ケタル寡婦及孤兒戸籍ヲ去リ若クハ死歿シ若クハ權利消滅シタルトキ父母又ハ祖父母アルトキハ寡婦ニ相當スル扶助料ノ全額ヲ其父母又ハ祖父母ニ終身給スルコトヲ得

其扶助料ハ先ツ父ニ給シ其父存在セサルトキ若クハ權利消滅シタルトキハ母ニ給ス母ヨリ祖父ニ祖父ヨリ祖母ニ轉給スルハ順次此例ニ依ル

第三十四條 扶助料ヲ受クヘキ寡婦孤兒又ハ父母祖父母ナクシテ死歿シタル軍人ノ戸籍内ニアル二十歳未滿又ハ癩疾若クハ不具ニシテ産業ヲ營ムコト能ハサル兄弟姉妹アリテ之ヲ給養スル者ナキトキハ寡婦ニ相當スル扶助料一個年分ヨリ少カラス五個年分ヨリ多カラサル金額ヲ人員ニ拘ハラヌ一時限リ其兄弟姉妹ニ給スルコトヲ得

第三十五條 第二十七條乃至第三十四條ヲ適用スヘキ軍人ノ寡婦父母祖父母及兄弟姉妹ハ其軍人現役中陸海軍兵籍簿ニ登記シタル者ニ限ル

第三十六條 此法律ニ於テ孤兒トハ年齢二十歳未滿ノ男女子ニシテ未タ結婚セサル者ヲ云フ但養男女子ハ家名繼襲者ニ限ル

第三十七條 扶助料ハ之ヲ受クヘキ事由ノ生シタル月ノ翌月ヨリ之ヲ給ス

雜則

第三十八條 陸軍軍人及海軍准士官以上ニシテ明治四年八月以前ヨリ勤仕ノ者退職若クハ免官スルトキハ同年七月以前ノ勤仕ニ對シテハ同年同月ノ現官等ニ相當ス



ル月俸ノ半額ヲ以テ奉職年數ノ一個年ニ當テ其年數ニ應スル金額ヲ一時支給ス  
海軍下士以下ニシテ明治二年五月以前ヨリ勤仕ノ者ハ同年四月以前ノ勤仕ニ對シ  
テハ同年同月ノ現官等ニ相當スル月俸ノ半額ヲ以テ奉職年數ノ一個年ニ當テ其年  
數ニ應スル金額ヲ一時支給ス

第三十九條 豫備後備ニ在ル者平時召集中職務ノ爲メ死歿シ又ハ傷痍ヲ受ケ若クハ  
疾病ニ罹リ服役ニ堪ヘサルトキハ此法律ノ規定スル所ニ依リ恩給ヲ受クルノ權利  
ヲ有ス

屯田兵下士卒ニシテ定規ノ給助ヲ受クル者平時軍隊勤務ノ爲メ死歿シ又ハ傷痍ヲ  
受ケ若クハ疾病ニ罹リ服役ニ堪ヘサルトキ亦同シ

第四十條 陸軍見習士官、海軍候補生、陸海軍諸生徒定規ノ給助ヲ受クル屯田兵下士  
卒及海軍水雷夫ハ第四條第二第三ニ因リ死歿シ又ハ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ  
服役ニ堪ヘサル者ニ限リ恩給ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第四十一條 恩給ノ支給ハ陸海軍大臣ノ證明ニ依リ恩給局ノ審査ヲ經テ内閣總理大  
臣之ヲ裁定ス

行政上ノ處分ニ由リ恩給ニ關スル權利ヲ障害セラレタリトスル者ハ六箇月以内ニ

恩給局ニ具申シテ裁決ヲ請フコトヲ得其裁決ニ服セサル者ハ一個年以内ニ行政裁  
判所ニ出訴スルコトヲ得但左ノ事件ニ關シテハ恩給局ノ裁決ハ終審確定ノモノト  
ス

一 傷痍疾病ノ原因及其輕重

二 職務ニ堪ユルト否ラサルト

第四十二條 恩給ハ賣買讓與質入書入スルコトヲ得ス又負債ノ抵償トシテ差押フル  
コトヲ得ス

第四十三條 明治八年達海軍退隱令明治九年達陸軍武官恩給令明治十六年達陸軍恩  
給令海軍恩給令ニ依リ恩給又ハ退隱料及扶助料ヲ受クル者ハ總テ該令ニ依ルヘシ  
但明治九年達陸軍武官恩給令ニ依リ受ケタル傷痍恩給ヲ除クノ外其權利消滅及停  
止ハ此律ニ依ル

明治七年佐賀及臺灣ノ役明治九年熊本及山口ノ役明治十年鹿兒島ノ役ニ從軍シタ  
ル者竝ニ明治十五年同十七年朝鮮國京城變亂ノ際該國ニ駐在若クハ派遣シタル者  
ノ從軍年計算ハ總テ從前ノ命令ニ依ル

第四十四條 此法律施行前ニ現役ヲ離レタル者ノ恩給ハ明治十六年達陸軍恩給令海



軍恩給令ニ依ルヘシ但此法律施行ノ月ヨリ三個年内ニ請求セサレハ之ヲ受クヘキ  
 權利ヲ拋棄シタルモノトス  
 第四十五條 此法律ハ明治二十三年七月一日ヨリ施行ス

第一號 退職恩給表

年官	將官及相當官		佐尉官及相當官					准士官
	親任官	勅任官	奏任	任官	官	判任官		
十一年	千五百圓	千二百圓	千五百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓
十二年	千五百圓	千二百圓	千五百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓
十三年	千五百圓	千二百圓	千五百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓
十四年	千五百圓	千二百圓	千五百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓
十五年	千五百圓	千二百圓	千五百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓
十六年	千五百圓	千二百圓	千五百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓	千二百圓

十七年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
十八年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
十九年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
二十年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
二十一年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
二十二年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
二十三年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
二十四年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
二十五年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
二十六年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
二十七年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓
二十八年	千六百圓	千三百圓	千六百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓	千三百圓



二十九年	千九百五	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十五
三十一年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八
三十二年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八
三十三年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八
三十四年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八
三十五年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八
三十六年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八
三十七年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八
三十八年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八
三十九年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八
四十年	千九百七	千五百	千三百	千九百	七百八	五百八	三百九	二百九	二百九	九十八

第二號 免除恩給表

年	官	數	下		官	海軍	海軍	陸軍卒	海軍	海軍
			判	任						
十一年	一等	六十	二	三	四	一等卒	二等卒	海軍三等卒	四等卒	五等卒
十二年	二等	六十二	三	四	五	二等卒	三等卒	四等卒	五等卒	六等卒
十三年	三等	六十四	四	五	六	三等卒	四等卒	五等卒	六等卒	七等卒
十四年	四等	六十六	五	六	七	四等卒	五等卒	六等卒	七等卒	八等卒
十五年	五等	六十九	六	七	八	五等卒	六等卒	七等卒	八等卒	九等卒
十六年	六等	七十二	七	八	九	六等卒	七等卒	八等卒	九等卒	十等卒
十七年	七等	七十五	八	九	十	七等卒	八等卒	九等卒	十等卒	十一等卒
十八年	八等	七十七	九	十	十一	八等卒	九等卒	十等卒	十一等卒	十二等卒
十九年	九等	七十九	十	十一	十二	九等卒	十等卒	十一等卒	十二等卒	十三等卒



二十年	八十一圓	七十四圓	六十六圓	六十圓	五十四圓	四十八圓	四十三圓	三十八圓
二十一年	八十四圓	七十六圓	六十八圓	六十二圓	五十六圓	五十圓	四十四圓	三十九圓
二十二年	八十七圓	七十八圓	七十圓	六十四圓	五十八圓	五十二圓	四十六圓	四十圓
二十三年	九十圓	八十一圓	七十二圓	六十六圓	六十圓	五十四圓	四十八圓	四十二圓
二十四年	九十二圓	八十三圓	七十四圓	六十七圓	六十一圓	五十四圓	四十九圓	四十三圓
二十五年	九十四圓	八十五圓	七十六圓	六十九圓	六十二圓	五十六圓	五十圓	四十四圓
二十六年	九十六圓	八十七圓	七十八圓	七十一圓	六十四圓	五十七圓	五十一圓	四十五圓
二十七年	九十九圓	八十九圓	八十圓	七十三圓	六十六圓	五十九圓	五十二圓	四十六圓
二十八年	百二圓	九十二圓	八十二圓	七十五圓	六十八圓	六十一圓	五十四圓	四十七圓
二十九年	百五圓	九十五圓	八十四圓	七十七圓	七十圓	六十三圓	五十六圓	四十九圓
三十年	百七圓	九十七圓	八十六圓	七十八圓	七十一圓	六十四圓	五十七圓	五十圓
三十一年	百九圓	九十九圓	八十八圓	八十圓	七十二圓	六十五圓	五十八圓	五十一圓

三十二年	百十一圓	百一圓	九十圓	八十二圓	七十四圓	六十六圓	五十九圓	五十二圓
三十三年	百十四圓	百三圓	九十二圓	八十四圓	七十六圓	六十八圓	六十圓	五十三圓
三十四年	百十七圓	百五圓	九十四圓	八十六圓	七十八圓	七十圓	六十二圓	五十四圓
三十五年	百二十圓	百八圓	九十六圓	八十八圓	八十圓	七十二圓	六十四圓	五十四圓
三十六年	百廿二圓	百十圓	九十八圓	八十九圓	八十一圓	七十三圓	六十五圓	五十七圓
三十七年	百廿四圓	百十二圓	百圓	九十一圓	八十二圓	七十四圓	六十六圓	五十八圓
三十八年	百廿六圓	百十四圓	百二圓	九十三圓	八十四圓	七十五圓	六十七圓	五十九圓
三十九年	百廿九圓	百十六圓	百四圓	九十五圓	八十六圓	七十七圓	六十八圓	六十圓
四十年	百卅二圓	百十九圓	百六圓	九十七圓	八十八圓	七十九圓	七十圓	六十一圓

第三號 負傷增加恩給表

項等	官將官及相當官	佐尉官及相當官	准士官	下士官	卒
	親任官	勅任官	奏任官	判任官	海軍海軍陸軍海軍
目官	一等三等二等三等四等五等六等	二等三等	二等三等	一等二等三等	四等五等

軍人恩給法

又二一



一 項	二 項	三 項	四 項	五 項	六 項
千五百圓	九百圓	七百五十圓	六百圓	四百五十圓	三百圓
千八百圓	七百圓	六百圓	四百八十圓	三百六十圓	二百四十圓
千七百五十圓	六百三十圓	五百三十圓	四百二十圓	三百三十圓	二百三十圓
千五百五十圓	六百圓	五百圓	三百九十圓	三百圓	二百二十圓
千四百五十圓	五百七十圓	四百七十圓	三百六十圓	二百七十圓	二百圓
千三百五十圓	四百七十圓	三百七十圓	二百七十圓	二百圓	一百八十圓
千二百五十圓	三百七十圓	二百七十圓	二百圓	一百八十圓	一百六十圓
千一百五十圓	二百七十圓	二百圓	一百八十圓	一百六十圓	一百四十圓
千圓	二百圓	一百八十圓	一百六十圓	一百四十圓	一百二十圓
九百圓	一百八十圓	一百六十圓	一百四十圓	一百二十圓	一百圓
八百圓	一百六十圓	一百四十圓	一百二十圓	一百圓	八十圓
七百圓	一百四十圓	一百二十圓	一百圓	八十圓	七十圓
六百圓	一百二十圓	一百圓	八十圓	七十圓	六十圓
五百圓	一百圓	八十圓	七十圓	六十圓	五十圓
四百圓	八十圓	七十圓	六十圓	五十圓	四十圓
三百圓	七十圓	六十圓	五十圓	四十圓	三十圓
二百圓	六十圓	五十圓	四十圓	三十圓	二十圓
一百圓	五十圓	四十圓	三十圓	二十圓	十圓

第四號 給助金表

親任官	勅任官	奏任官	判任官
一等	二等	三等	四等
千五百圓	千二百圓	千圓	八百圓
千二百圓	千圓	八百圓	六百圓
千圓	八百圓	六百圓	四百圓
八百圓	六百圓	四百圓	三百圓
六百圓	四百圓	三百圓	二百圓
四百圓	三百圓	二百圓	一百圓
三百圓	二百圓	一百圓	五十圓
二百圓	一百圓	五十圓	三十圓
一百圓	五十圓	三十圓	二十圓
五十圓	三十圓	二十圓	十圓

第五號 戰闘及公務ノ爲メ死歿シタル者ノ寡婦孤兒扶助料

將官及相當官	親任官	勅任官	奏任官	判任官
准士官及下士	一等	二等	三等	四等
海軍海軍陸軍海軍	千八百圓	千五百圓	千圓	八百圓
海軍海軍陸軍海軍	千五百圓	千圓	八百圓	六百圓
海軍海軍陸軍海軍	千圓	八百圓	六百圓	四百圓
海軍海軍陸軍海軍	八百圓	六百圓	四百圓	三百圓
海軍海軍陸軍海軍	六百圓	四百圓	三百圓	二百圓
海軍海軍陸軍海軍	四百圓	三百圓	二百圓	一百圓
海軍海軍陸軍海軍	三百圓	二百圓	一百圓	五十圓
海軍海軍陸軍海軍	二百圓	一百圓	五十圓	三十圓
海軍海軍陸軍海軍	一百圓	五十圓	三十圓	二十圓
海軍海軍陸軍海軍	五十圓	三十圓	二十圓	十圓

第六號 寡婦孤兒扶助料

將官及相當官	親任官	勅任官	奏任官	判任官
准士官及下士	一等	二等	三等	四等
海軍海軍陸軍海軍	五百圓	四百圓	三百圓	二百圓
海軍海軍陸軍海軍	四百圓	三百圓	二百圓	一百圓
海軍海軍陸軍海軍	三百圓	二百圓	一百圓	五十圓
海軍海軍陸軍海軍	二百圓	一百圓	五十圓	三十圓
海軍海軍陸軍海軍	一百圓	五十圓	三十圓	二十圓
海軍海軍陸軍海軍	五十圓	三十圓	二十圓	十圓
海軍海軍陸軍海軍	三十圓	二十圓	十圓	五圓
海軍海軍陸軍海軍	二十圓	十圓	五圓	三圓
海軍海軍陸軍海軍	十圓	五圓	三圓	二圓



●閣令第五號 (明治二十三年七月二日)

軍人恩給法施行規則

第一條 軍人恩給法ニ依リ退職恩給免除恩給増加恩給賑恤金給助金ヲ受クヘキ者ハ其請求書ニ履歷書ヲ添ヘ公務ノ爲メ受ケタル傷痕疾病ニ起因シ之ヲ請求スル者ハ軍人恩給法第十二條ニ掲クル書類ヲ添ヘ所管長官ニ差出シ所管長官ヨリ陸軍大臣若クハ海軍大臣ニ差出スヘシ

第二條 軍人恩給法ニ依リ恩給受クヘキ資格アル軍人死歿シタルトキハ所管長官ヨリ死者ノ履歷書ヲ其遺族ニ下付スヘシ  
軍人恩給法第二十七條第一ニ當ル者アリタルトキハ所管長官ヨリ其事實ヲ證明スヘキ書類ヲ其遺族ニ下付スヘシ

第三條 軍人恩給法ニ依リ扶助料ヲ請求スル者ハ其請求書ニ請求者署名シ  
後見人ア見人連署 親族二名、親族ナキトキハ居住地ノ戸主二名連署シ市町村長ノ奥印ヲ受スヘシ  
ケ左ニ掲クル書類ノ外市町村長ノ證明シタル戸籍調書ヲ添ヘ地方長官ニ差出スヘシ

一 現役中死歿シタル軍人ノ遺族ハ所管長官ヨリ下渡シタル死者ノ履歷書



- 二 前項ノ者軍人恩給法第二十七條第一ニ當ルトキハ履歷書ノ外所管長官ヨリ下渡シタル公務ノ爲メ死歿シタル事實ヲ證明スヘキ書類
- 三 恩給ヲ受ケタル軍人ノ遺族ハ其恩給證書
- 四 扶助料ヲ受クル者死歿若クハ權利消滅シ若クハ支給期限ノ滿チタルトキ其轉給ヲ受クヘキ者ハ前者ノ恩給證書
- 五 扶助料ヲ受クル者公權停止ニ因リ其轉給ヲ受クヘキ者ハ確定裁判ノ宣告書寫
- 六 軍人恩給法第三十四條ニ當ル癡疾不具ニシテ產業ヲ營ムコト能ハサル者ハ第一第二若クハ第三若クハ第四ニ掲クル書類ノ外醫師ノ診斷證書  
地方長官前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ陸軍大臣若クハ海軍大臣ニ差出スヘシ但明治十年鹿兒島ノ役ニ從軍シ陸軍恩給令ニ依リ恩給ヲ受ケタル元警視局員ノ遺族ヨリ本條ノ請求ヲ爲シタルトキハ地方長官ヨリ内務大臣ニ差出スヘシ
- 第四條 陸海軍大臣又ハ内務大臣前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ審査ノ上請求ノ理由アリト認ムルトキハ恩給計算書ヲ作リ書類ヲ添へ、其傷痍疾病ニ起因スルモノニ付テハ陸軍省醫務局若クハ海軍中央衛生會議ノ覆覈ヲ經タル書類、軍人ノ

- 寡婦父母祖父母及兄弟姊妹ノ扶助料ニ付テハ陸海軍兵籍簿ノ寫ヲ添へ内閣總理大臣ニ差出スヘシ
- 陸海軍大臣又ハ内務大臣ニ於テ前項請求ノ理由ナシト認ムルトキハ意見ヲ具シテ之ヲ内閣總理大臣ニ差出スヘシ
- 第五條 内閣ニ於テ恩給ノ請求ヲ許可シタルトキハ恩給證書ヲ作リ陸軍省若クハ海軍省若クハ内務省ヲ經テ本人居住地ノ地方廳ヲシテ之ヲ下付セシム但一時ノ支給ニ係ルモノハ辭令書ヲ用ユ
- 恩給證書若クハ辭令書ヲ下付シタルトキハ内閣ハ其旨ヲ大藏省ニ通報スヘシ
- 第六條 軍人恩給法第三十八條ノ月俸ニシテ米給ニ係ルモノハ官吏恩給法施行規則第十一條ノ例ニ依ル
- 第七條 扶助料ヲ受クル者死歿若クハ戶籍ヲ去リ若クハ婚嫁シ若クハ支給期限ノ滿チタルトキハ地方廳ニ於テ其月ノ翌月ヨリ扶助料ヲ支給ヲ廢シ其旨ヲ大藏省ニ通知スヘシ大藏省ハ之ヲ内閣恩給局ニ通知スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ扶助料ノ轉給ヲ受クヘキ者ナキトキハ地方廳ニ於テ其恩給證書ヲ收メテ内閣恩給局ニ送付スヘシ



第八條 軍人恩給法第九條第十四條第十五條ノ傷痍疾病輕重ノ等差ハ陸海軍大臣之ヲ定ム

第九條 明治八年達陸軍武官傷痍扶助死亡ノ者祭案家族扶助概則及海軍退隱令明治九年達陸軍武官恩給令明治十六年達陸軍恩給令海軍恩給令ニ依リ恩給又ハ退隱料扶助料ヲ受クル者左ノ場合ニ於テハ本則ニ依ル

- 一 死歿又ハ權利消滅又ハ停止ノトキ
- 二 恩給證書ヲ亡失シタルトキ
- 三 改氏名又ハ居住地ヲ轉シタルトキ

第十條 明治十六年達陸軍恩給令海軍恩給令ニ依リ恩給又ハ扶助料ヲ請求スル者ハ本則ニ依ルヘシ

第十一條 市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ本規則ニ依リ市町村長ノ爲スヘキ職務ハ區戸長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第十二條 本規則ニ於テ特別ノ規定ヲ設ケサルモノハ總テ官吏恩給法施行規則ノ例ニ依ル

廿七年十月  
閣令第十  
七號參看

●陸軍省令第二十二號 (明治二十三年七月二十三日)

陸軍軍人恩給取扱手續

第一條 軍人恩給法ニ依リ恩給ヲ請求スル手續ハ軍人恩給法施行規則ニ示シタルモノ、外陸軍部内ニ在テハ此細則ニ準據スヘシ

第二條 退職恩給免除恩給増加恩給ノ請求書ハ當該軍人現役ヲ離レタル後第一第二書式ニ示シタル書類ヲ具備シ舊所屬長ニ呈スヘシ所屬長之ヲ調査シ計算書(第九書式)ヲ作り順序ヲ經テ所屬長官ニ呈シ所屬長官ハ之ヲ陸軍大臣ニ進達スヘシ

第三條 傷痍疾病ニ基ク恩給ノ請求ニ係ルトキハ所屬長官其診斷證書(第五書式)ヲ軍醫長ニ移シテ審査セシメタル上陸軍大臣ニ進達スヘシ

地方醫師ノ診斷證書ヲ以テ恩給ヲ請求スルハ陸軍醫官ノ診斷ヲ受クルコト能ハサル場合ニ限ル其證書ニハ原因經過療法及ヒ現症ヲ詳記シテ醫師二名署名セシムヘシ所屬長官ハ醫官ヲシテ其傷痍疾病ノ等差ヲ判定シ查覈證書ヲ作ラシメタル上書類ヲ軍醫長ニ移シ之ヲ審査セシムヘシ

第四條 軍人恩給法第十一條ニ當ル者ハ其期限内ニ於テ居住地地方ノ師團長若クハ屯田兵司令官ニ検査ヲ請求スルコトヲ得



師團長若クハ屯田兵司令官其請求ヲ受ケタルトキハ醫官ヲシテ其症狀ヲ實査セシメ診斷證書(第五書式)ヲ作ラシム其診斷證書ノ審査ニ係ル取扱ハ第三條ノ例ニ同シ

第五條 休職者停職者ノ恩給請求書ハ直ニ所管師團長若クハ屯田兵司令官ノ師團長ニ呈スヘシ師團長ハ之ヲ參謀長屯田兵司令官ハ參謀ニ下シテ調査セシメ計算書(第九書式)ヲ作り之ヲ陸軍大臣ニ進達スヘシ

第六條 賑恤金ノ請求ハ第三書式ニ示シタル書類ヲ具備シ舊所屬長ニ呈スヘシ所屬長ハ順序ヲ經テ所管長官ニ呈シ所管長官ハ第三條ノ例ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第七條 給助金ノ請求ハ第四書式ニ示シタル書類ヲ具備シ本人若クハ遺族ヨリ舊所管長官ニ呈スヘシ所管長官ハ之ヲ陸軍大臣ニ進達スヘシ

第八條 恩給ヲ受クル權利ヲ有スル士官候補生ノ内見習士官ハ曹長ニ一等軍曹二等軍曹ノ各階級ニ進ミタル者ハ其階級ニ其他ノ生徒ハ總テ兵卒ニ準ス

第九條 服役年ヲ算スルニ當リ初任ノ月ニ端日數ヲ生シタルトキハ其月ノ大小ニ依リ積算スルヲ法トス故ニ現役ヲ離レタル月ノ端日數ト合セテ三十日以上ニ及ヒタルトキハ其初任ノ月ノ大小ニ從ヒ一箇月ノ區域ヲ定ム

廿五年六月省令第十號參看

第十條 軍人恩給法施行規則第二條ニ依リ所管長官ヨリ死者ノ履歷書ヲ其遺族ヘ下附スルトキハ兵籍ノ寫ヲ添ユヘシテモ亦同シ

前項ノ履歷書(第八書式)及兵籍寫ニハ所管長官其事實ヲ証明スヘシ但兵籍寫ノ証明書式ハ第八書式末文ニ依ル

第十一條 恩給、賑恤金給助金ノ請求書及ヒ履歷書ハ各二通ヲ差出スヘシ  
第一書式 (用紙美濃紙)

恩給請求書

何年何月何日何兵ニテ入營(何々被申付)何年何月何日被任何官爾來何箇年服役何年何月何日豫備(後備)(退役)(服役滿期)(傷痍(疾病)ノ故ヲ以テ退役(免官)(免役)ニ相成候就テハ軍人恩給法第何條ニ依リ恩給下賜度證據書類相添請求仕候也

元第何師團何兵第何聯隊第何中隊(官廩)  
何府(縣)何市區(郡)何市區(郡)何町(村)番地華(士)族(平民)  
何府(縣)何市區(郡)何町(村)番地寄留

年 月 日

官 氏 名 印

所管長官爵氏名殿

陸軍々人恩給取扱手續



陸軍々人恩給取扱手續

ヲ四

附属スヘキ證據書類

履歷書(第八書式)

傷疾疾病ニ係ルモノハ

履歷書(第八書式)

診斷證書(第五書式)若クハ第三條第二項ノ地方醫師診斷證書

現認證書(第七書式)若クハ公文ノ寫若クハ口供書

第二書式 (用紙美濃紙)

(傷疾疾病重症ニ趨キ恩給ノ増加ヲ請  
求若クハ其恩給ヲ更ニ請求スルトキ)

恩給請求書

何年何月何日ヨリ傷疾(疾病)ノ故ヲ以テ恩給及負傷増加恩給下賜候(現役ヲ離レ  
候)處爾來何々ニ據リ遂ニ重症ニ趨キ別紙診斷證書ノ通ニ候間御檢査ノ上軍人恩  
給法第何條ニ據リ恩給下賜度證據書類相添請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

年月日

官氏名印

所管長官爵氏名殿

附属スヘキ證據書類

診斷證書 地方醫師ノ製シタル診斷證書ニア  
リテハ醫師二名連署シタルモノ

更ニ恩給ヲ請求スルモノハ

履歷書(第八書式)

診斷證書 地方醫師ノ製シタル診斷證書ニア  
リテハ醫師二名連署シタルモノ

現認證書(第七書式)若クハ公文ノ寫若クハ口供書

第三書式 (用紙美濃紙)

賑恤金請求書

何年何月何日何地ニ於テ何々ノ爲メ傷疾ヲ受ケ(疾病ニ罹リ)爾來加療ノ未服役ニ  
堪ヘサルヲ以テ何月何日免官(免役)相成候就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ相當ノ  
賑恤金下賜度證據書類相添請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

年月日

元官氏名印

所管長官氏名殿

附属スヘキ證據書類

陸軍々人恩給取扱手續

ヲ五



診断證書(第五書式)若クハ第三條第二項ニ同シキ地方醫師診断證書  
現認證書(第七書式)若クハ公文ノ寫若クハ口供書  
第四書式(用紙美濃紙)

給助金請求書

何年何月何日被任何官爾來何箇年勤績本年何月何日現役ヲ離レ候ニ付軍人恩給法  
第何條ニ據リ給助金下賜度證據書類相添請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

年月日

官 氏 名 印

所管長官爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

履歷書(第八書式)

(遺族ヨリ出願ノトキ)

給助金請求書

第何師團何兵第何聯隊第何中隊(官廨)

故官 氏 名

右何年何月何日死去仕候ニ付軍人恩給法第何條ニ據リ給助金下賜度證據書類相添  
請求仕候也

故官氏名寡婦(孤兒)(遺族)

何府(縣)何市區(郡)町(村)番地華(士)族(平民)  
何府(縣)何市區(郡)町(村)番地寄留

年月日

氏 名 印

所管長官爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

履歷書(第八書式)

第五書式 (用紙美濃十三行野紙)

(「内ハ朱書」)

診断證書

第何師團何兵第何聯(大)隊第何中隊

陸軍何兵何等卒 氏 名

右何年(何役)何月何日何地ニ於テ何々ノ際右大腿前下部ヨリ膝脛ニ貫通スル骨傷  
銃創ヲ受ケ(何病ニ罹リ直ニ繃帶所(某野戰病院)ニ於テ一時ノ處置ヲ施シ爾後何



々病院ヲ經テ何月何日某衛戍病院(某豫備病院)ニ入院(軍人恩給法第十一條ニ當ルモノハ爾來加療ノ末創面治癒スルニ由リ何年何月現役ヲ離レタル後何月何日來該傷痕ノ爲メ何々症ヲ發シ)當時ノ症狀何々(何々症ヲ繼(併)發ス)依テ何々ノ部ニ何々ノ手術(何々ノ療法)ヲ施シ爾後經過何々ニシテ現今創面(何々)ハ治癒スト雖モ右膝關節何度ノ角ニ於ケル強剛ヲ遺シ且患肢ハ健肢ヨリモ瘦削スルコト何々ノ部ニ於テ周測スルニ何仙迭迭篤爾ニシテ該肢ノ用ヲ妨クルニ由リ軍人恩給法第九條第何項症)賑恤金ニ係ルモノハ軍人恩給法第十四條第何項即陸軍軍人傷痕疾病恩給等差例第二條第何款ノ甲(乙)症)ト診斷候也

主任

年月日

職 官氏

名 印

再診

何病院長 官氏

名 印

「審査」

「第何師團軍醫長 官氏

名 印」

「右覆數候處適當ノ診斷ト認定候也」

「陸軍省醫務局長 氏

名

印

備考

傷痕疾病ノ原因、症候(傷痕ノ種類、部位、淺深等、疾病ノ輕重、併發症、繼發症等)經過、療法及ヒ現時官能障礙ノ景況ヲ詳記スヘシ

本證書ハ退役又ハ服役免除ノ爲ニ要スル診斷證書ト同時ニ調製スヘキモノトス

再診ハ本人ニ就テ診斷スルヲ例トス但シ場合ニ依リ病床日誌ノ寫(病床日誌ヲ作ラサルトキハ病歷書)ニ就キ再診スルコトヲ得

各官衙附憲兵隊附等ノモノニ係ル審査ノ取扱ハ一般ノ手續ニ依ル

第六書式 (用紙美濃十三行罫紙)

死亡證書

第何師團何兵第何聯(大)隊何中隊

陸軍何兵何等卒 氏

名

右何年何月何日何地ニ於テ何々ノ際何部ニ何傷ヲ受ケ(何病ニ罹リ)爾後何病院(何々ヲ經テ何月何日來何病院)ニ於テ加療候處(何々症ヲ繼(併)發シ)遂ニ何々ニ



由リ本日午前(後)何時何分死亡候也

年月日

職官氏

名 ①

備考 入院患者ニアリテハ病院長其他ニアリテハ主任ノ醫官之ヲ調製スルモ

ノトス

第七書式

現認證書

第何師團何兵第何聯(大)隊第何中隊

陸軍何兵何等卒 氏

名

右何年何月何日午前(後)何時何地ニ於テ俱ニ進撃ノ際(器械體操何演習何々ノ際何々ニ由リ何々ニ觸レ)(何々ニ由リ何物ノ爲ニ)何部ニ何傷ヲ受クルヲ現認候也

第何師團何兵第何聯(大)隊第何中隊

年月日

官氏

名 ①

同

官氏

名 ①

備考 本證書ハ勉メテ受傷ノ現況ヲ詳記スヘシ

現認者一名ノ場合ニ在テハ一名ニテ之ヲ作ルヘシ

第八書式

履歷書 (死者ノ遺族ヘ下付スヘキ履歷書モ之ニ準ス)

何府(縣)何市區(郡)町(村)番地華(士)族(平民)

同 何番地寄留

官氏

名 印

明治何年何月何日 徵兵ニテ何師團ヘ入營(任何官)ル官廳ノ名ヲ任官ノ下ニ一々記スヘシ

同 何年何月何日 何々ノ科ニ依リ輕禁錮何日

同 何年何月何日 任何兵二等軍曹

同 何年何月何日 任何兵一等軍曹

同 何年何月何日 某地從軍 (外國戰ニ當リ出征軍ニ編入セラレタルトキハ內國

港灣出發ノ日)  
(內國戰ニ在テハ戰地ニ臨ミタル日)  
(臨戰合圍地境內ニ於テ服役シタルトキハ其境內ニ於テ役ニ就キタル日)  
(日本國外ノ鎮戍ニ在リタルトキハ其鎮戍ニ臨ミタル日)



同 何年何月何日 某地ヨリ歸營

(外國戰ニ當リテ歸港ノ日)  
(内國戰ニ當リテハ戰地ヲ退キタル日)  
(臨戰合圍地境内ニ於テ役ニ就キタルトキハ其役ヲ離レタル日)  
(日本國外ノ鎮戍ニ在リシトキハ其鎮戍ヲ離レタル日)

同 何年何月何日 任何兵曹長

同 何年何月何日 任何兵少尉

同 何年何月何日 任何兵中尉

同 何年何月何日 豫備(後備)(退役)被仰付(免官)(免役)(死亡)

右相違無之依テ証明候也

年 月 日

職 官 氏

名

印職

第九書式

恩給計算書

官 氏

名

年	月	日	事 由	服 役 年 通 算
明治何年	何月	何日	任何官	何年何箇月 (一時賜金ニ係ル年月)
同 何年	何月	何日	任何官	
同 四年	七月	三十日	官祿何石 月俸何圓	
同 何年	何月	何日	徵 兵	何年何箇月
同 何年	何月	何日	教導團生徒	除ク
同 何年	何月	何日	任何官	何年何箇月何日
同 何年	何月	何日	任何官	
同 何年	何月	何日	任何官	
同 何年	何月	何日	服役終期	